

取扱説明書

Field Xpert SMT70

危険場所（Ex ゾーン 2）および非危険場所でのユニバーサル機器設定が可能な高性能タブレット PC



改訂履歴

ソフトウェアバージョン	取扱説明書	変更
1.00.xx	BA01709S/04/EN/ 01.17	初期バージョン
1.02.xx	BA01709S/04/EN/ 02.18	新規セクション 8.5 「Fieldgate PAM SFG600 を使用した PROFINET 経由の HART」 追加
1.03.xx	BA01709S/04/EN/ 03.18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規セクション 8.6 「DTM の自動更新」 追加 ■ 新規セクション 8.7 「IIoT ライブラリへの HART 機器レポートのアップロード」 追加 ■ 新規セクション 8.8 「RFID」 追加 ■ スクリーンショットの新規追加
1.04.xx	BA01709S/04/EN/ 04.19	<ul style="list-style-type: none"> ■ スクリーンショットの新規追加 ■ セクション 1.2.3 : 新しいシンボル ■ セクション 4.2.2 : 製造者所在地 ■ セクション 8.2 : 「Bluetooth」 接続 ■ セクション 8.4 : ライセンスの更新 ■ セクション 8.7.1 : オフライン使用事例 ■ セクション 8.7.2 : Netilion ライブラリへのリンク ■ セクション 8.8 : Netilion ライブラリに写真のアップロード
1.05.xx	BA01709S/04/EN/ 05.20	<ul style="list-style-type: none"> ■ スクリーンショットの新規追加 ■ セクション 1.2.3 : 新しいシンボル ■ セクション 4.2.1 : 銘板 ■ セクション 8.2 : 「Bluetooth」 および 「WLAN」 接続 ■ セクション 8.4 : ライセンスの更新 ■ 新規セクション 8.7 「Netilion ライブラリ」 追加 ■ 新規セクション 8.8 「スキャナアプリ」 追加 ■ 新規セクション 8.9 「Netilion ライブラリへの Heartbeat Verification レポートのアップロード」 追加
1.06.xx	BA01709S/04/EN/ 06.22	<ul style="list-style-type: none"> ■ このバージョンの英語版スクリーンショット ■ セクション 5.3 : ソフトウェアアップデートサービス ■ セクション 9.1 : バッテリメンテナンス ■ 付録 : モバイル機器の保護
1.07.xx	BA01709S/04/EN/ 07.22	<ul style="list-style-type: none"> ■ セクション 1.2.3 : シンボルの説明の更新 ■ セクション 1.3 : 使用される頭文字 ■ セクション 8 : スクリーンショットの適合 ■ セクション 8.3.6 : Bluetooth 新規
1.08.xx	BA01709S/04/EN/ 08.23	<ul style="list-style-type: none"> ■ セクション 1.2.3 「Field Xpert アイコン」 : 注意の追加 ■ セクション 1.4 : 改訂 ■ セクション 3.1 : 図改訂 ■ セクション 5.3 : 改訂 ■ セクション 8.2 「Fieldgate PAM SFG600」 削除 ■ セクション 8.5 「Fieldgate PAM SFG600 を使用した PROFINET 経由」 削除 ■ セクション 8.8 「スキャナアプリ」 削除

ソフトウェアバージョン	取扱説明書	変更
1.08.xx	BA01709S/04/EN/ 09.24	<ul style="list-style-type: none">■ セクション 9 「メンテナンス」再挿入■ セクション 10 「修理」再挿入
1.08.xx	BA01709S/04/EN/ 10.24	<ul style="list-style-type: none">■ セクション 1.2.3 「Field Xpert アイコン」更新■ セクション 3 「ネットワークの構成」図削除■ セクション 3.2 「ライセンスモデル」削除■ セクション 4.2.1 「銘板」改訂■ セクション 5 「設置」改訂■ セクション 8 「Field Xpert ソフトウェアの説明」追加■ セクション 9 「通信ドライバおよびデバイスドライバのインストール」(DTM、FDT、IODD)■ セクション 10 「操作」改訂および再編

目次

1	本説明書について	6	8.3	情報ページ	26
1.1	本文の目的	6	9	通信ドライバおよびデバイス	
1.2	シンボル	6		ドライバのインストール	26
1.3	使用される頭文字	8	9.1	DTM	27
1.4	関連資料	9	9.2	FDI – FDI Package Manager	28
1.5	登録商標	9	9.3	IODD – IODD DTM Configurator	29
2	安全上の基本注意事項	9	10	操作	30
2.1	要員の要件	10	10.1	Field Xpert ソフトウェアの起動	30
2.2	指定用途	10	10.2	接続タイプ、プロトコル、インタフェースの概要	32
2.3	労働安全	10	10.3	「自動」接続の確立	33
2.4	操作上の安全性	10	10.4	「ウィザード」による接続の確立	34
2.5	製品の安全性	11	10.5	「ワイヤレス」Bluetooth による接続の確立	36
2.6	IT セキュリティ	11	10.6	「無線」LAN による接続の確立	38
3	製品説明	11	10.7	メニューページ	42
3.1	適用分野	14	10.8	設定	45
3.2	ライセンスモデル	14	10.9	情報ページ	48
4	受入検査および製品識別表示	16	10.10	RFID	51
4.1	納品内容確認	16	11	メンテナンス	52
4.2	製品識別表示	17	11.1	バッテリー	52
4.3	保管および輸送	18	11.2	清掃	55
5	設置	18	12	修理	55
5.1	システム要件	18	12.1	一般情報	55
5.2	ソフトウェアのアップデート	18	12.2	スペアパーツ	56
5.3	ソフトウェアの削除	19	12.3	返却	56
6	操作	19	12.4	廃棄	56
6.1	ステータスインジケータ	19	13	アクセサリ	56
6.2	タブレット PC のシャットダウン	20	14	技術データ	57
6.3	タブレット PC をスリープモードにする	20	15	付録	57
6.4	セキュリティ画面	20	15.1	モバイル機器の保護	57
7	設定	21	15.2	連邦通信委員会 (FCC)	57
7.1	バッテリーの装着	22	15.3	Canada, Industry Canada (IC) Notices / Canada, avis d'Industry Canada (IC) ...	58
7.2	バッテリーの充電	23	15.4	Warning Explosion Hazard	58
7.3	タブレット PC の電源投入	23	15.5	クラス 1 レーザー製品	59
7.4	AC アダプタの接続	23			
8	Field Xpert ソフトウェアの説明	24			
8.1	「Connection」スタート画面	24			
8.2	メニューページ	25			

1 本説明書について

1.1 本文の目的

本取扱説明書には、機器のライフサイクルの各段階（製品識別表示、納品内容確認、保管、設置、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。

1.2 シンボル

1.2.1 安全シンボル

危険

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災を引き起こす恐れがあります。

警告

潜在的に危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災を引き起こす恐れがあります。

注意

潜在的に危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度のけがを負う恐れがあります。

注記

潜在的に有害な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品や周囲のものを破損する恐れがあります。

1.2.2 特定情報に関するシンボル

シンボル	意味
	許可 許可された手順、プロセス、動作
	推奨 推奨の手順、プロセス、動作
	禁止 禁止された手順、プロセス、動作
	ヒント 追加情報を示します。
	資料参照
	ページ参照
	図参照
	注意すべき注記または個々のステップ
1, 2, 3...	一連のステップ

シンボル	意味
	操作・設定の結果
	問題が発生した場合のヘルプ
	目視確認

1.2.3 Field Xpert アイコン

シンボル	意味
	タブレットをオン/オフにします。
	Windows ボタン
	無線通信 (WLAN、WWAN、GPS、Bluetooth)
	バッテリー
	Offline Dynamic Installed Base Analysis (DIBA) 機能を開きます。
	Field Xpert ソフトウェアのホーム画面を呼び出します。
	最後に開いたページに戻ります。
	Field Xpert ソフトウェアのメニューページを呼び出します。
	Field Xpert ソフトウェアの情報ページを呼び出します。
	表示を最小化します。
	全画面表示を有効にします。
	全画面表示を無効にします。
	Field Xpert ソフトウェアを終了します。
	上方向へのスクロール
	下方向へのスクロール
	更新

シンボル	意味
	FDI Package Manager を開きます。
	情報表示を展開します。
	情報表示を折りたたみます。
	自動接続
	ウィザードを使用して接続（手動接続）
	Endress+Hauser 製無線 LAN (WLAN) および Bluetooth フィールド機器との接続
	RFID
	Netilion（クラウド）
	お気に入り
	キーボード
	カメラ
	Netilion ライブラリへのショートカット
	写真および PDF を Netilion ライブラリのアセットに添付
	機能実行
	削除

1.3 使用される頭文字

頭文字	説明
DTM	デバイスタイプマネージャ
FCC	Federal Communications Commission（連邦通信委員会）
FDI	Field Device Integration（フィールド機器統合）
HF	High Frequency（高周波） [RF = radio frequency]
IODD	Input Output Data Definition（入出力データ定義）

頭文字	説明
MSD	メニュー構造の説明
SD	Secure Digital
WWAN	Wireless Wide-Area Network (無線 WAN)

1.4 関連資料



関連する技術資料の概要については、以下を参照してください。

- デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer) : 銘板のシリアル番号を入力します。
- Endress+Hauser Operations アプリ : 銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のマトリクスコードをスキャンしてください。

Field Xpert SMT70

- 技術仕様書 TI01342S
- 取扱説明書 BA01709S

1.5 登録商標

Windows 10 IoT Enterprise® は Microsoft Corporation, Redmond, Washington, USA の登録商標です。

Intel® Core™ は Intel Corporation, Santa Clara, USA の登録商標です。

Durabook は Twinhead International Corp., Taiwan の登録商標です。

FOUNDATION™ フィールドバスは FieldComm Group, Austin, TX 78759, USA の登録商標です。

HART®, WirelessHART® は FieldComm Group, Austin, TX 78759, USA の登録商標です。

PROFIBUS® は PROFIBUS User Organization, Karlsruhe/Germany の登録商標です。

PROFINET® は PROFIBUS User Organization (PNO), Karlsruhe/Germany の登録商標です。

Modbus は Modicon, Incorporated の登録商標です。

IO-Link® は PROFIBUS User Organization, (PNO) Karlsruhe/Germany 気付 IO-Link Community (www.io-link.com) の登録商標です。

その他のブランド名および製品名はすべて当該企業や組織の登録商標です。

2 安全上の基本注意事項



機器に付属の取扱説明書およびタブレット PC 製造者の安全上の注意事項に従ってください。

2.1 要員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

オペレータ要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること。
- ▶ 本資料の説明に従うこと。

2.2 指定用途

機器設定用のタブレット PC を使用して、危険場所と非危険場所のモバイルプラントアセット管理を実現します。これは、設定およびメンテナンスの担当者が、デジタル通信インタフェースを使用してフィールド機器を管理し、進捗状況を記録するために適しています。このタブレット PC は完全なソリューションとして設計されており、操作性に優れ、タッチ操作にも対応しています。この PC を使用して、フィールド機器のライフサイクル全体を管理できます。さまざまなドライバライブラリがプレインストールされているため、機器のライフサイクル全体にわたって「産業用 IoT」および機器情報や関連資料に容易にアクセスできます。タブレット PC には、最新のソフトウェアユーザーインタフェースが採用されており、安全性に優れた Microsoft Windows 10 の高機能環境のオンラインアップデートを適用することもできます。

2.3 労働安全

機器で作業する場合：

- ▶ 各国の規制に従って、必要な個人用保護具を着用してください。

2.4 操作上の安全性

機器が損傷する可能性があります。

- ▶ 本機器は、適切な技術条件およびフェールセーフ条件下でのみ操作してください。
- ▶ 施設作業するには、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

機器の改造

機器を無断で改造することは、予測不可能な危険を引き起こす可能性があるため、禁止されています。

- ▶ 変更が必要な場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

修理

操作上の安全性と信頼性を保証するために、以下の点にご注意ください。

- ▶ 機器の修理は、明確に許可された場合のみ実施してください。
- ▶ 電気機器の修理に関する各地域/各国の規定を遵守してください。
- ▶ 純正のスペアパーツおよびアクセサリのみを使用してください。

2.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

本機器は一般的な安全基準および法的要件を満たします。また、機器固有の EU 適合宣言に明記された EU 指令にも準拠します。Endress+Hauser は機器に CE マークを添付することにより、機器の適合性を保証します。

2.6 IT セキュリティ

取扱説明書の指示に従って製品を設置および使用した場合にのみ、当社の保証は有効です。本製品には、設定が誤って変更されないよう、保護するためのセキュリティ機構が備えられています。

製品および関連するデータ伝送の追加的な保護を提供する IT セキュリティ対策を、事業者自身が自社の安全基準に従って講じる必要があります。

3 製品説明

タブレット PC には超小型フォームファクタが採用されており、保護等級 (IP65) や耐衝撃性 (4 フィートの高さからの落下試験および MIL-STD 810G) などの最も厳しい要件に適合します。画面保護フィルムなどを追加すると、過酷な作業環境でも PC を完全に保護することができます。また、タブレット PC の人間工学に基づいた形状により、作業員の健康を守り、作業時のストレスを最小限に抑えます。

危険場所での 4G/LTE 接続の普及により、タブレット PC はデータへの迅速かつシームレスなアクセスを実現します。無線 LAN (WLAN) しか利用できない、あるいは WLAN すら利用できない環境では、イーサネットインタフェースとのドッキングステーション (オプション) を使用することで、タブレット PC を既存のネットワークインフラに柔軟に接続することができます。さらに、最新の Bluetooth 規格もサポートされています。

オプションのオフィス用ドッキングステーションを使用すると、タブレット PC を現場で使用した後に、オフィス用の PC として使用し、オフィスの業務ネットワークにシームレスに統合できます。

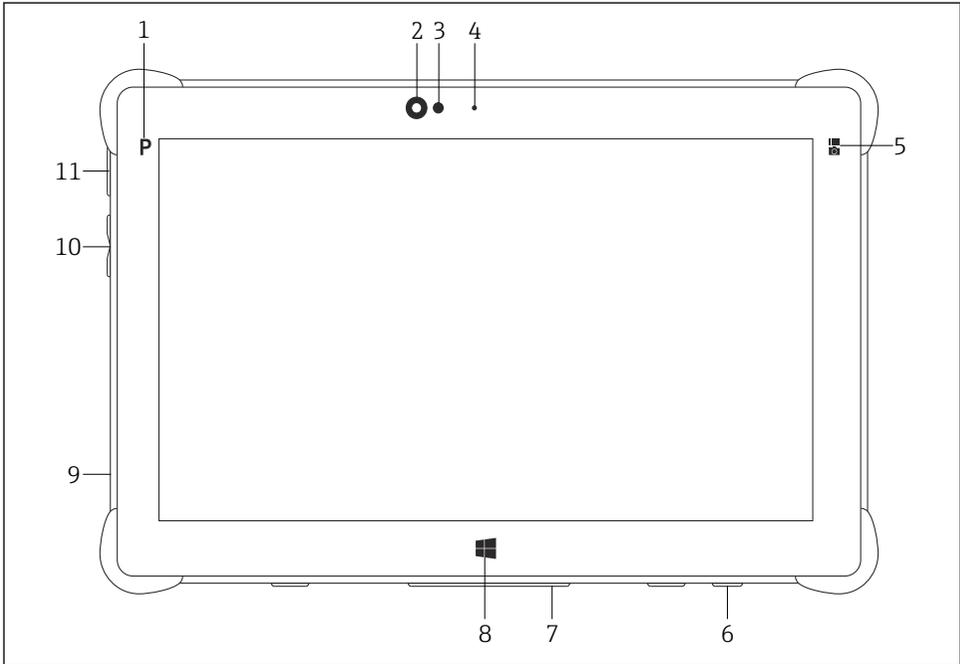


図 1 タブレット PC の前面図

- 1 プログラムボタン
- 2 前面カメラ
- 3 周囲光センサ
- 4 マイク
- 5 ファンクションキー
- 6 DC ソケット (底面)
- 7 ドックコネクタ (底面)
- 8 Windows ボタン
- 9 ケンジントンロック (セキュリティワイヤ) 用スロット (左側面)
- 10 音量ボタン (左側面)
- 11 オン/オフボタン (左側面)

コンポーネント	説明
プログラムボタン	ユーザー定義プログラムに移動する
前面カメラ	ビデオ録画用 (ビデオ会議などに使用)
周囲光センサ	現在の周囲光条件を計測する
マイク	周囲の音を録音する
ファンクションキー	「Quick Menu」を使用して、このキーに機能を割り当てることできる
DC ソケット	電源アダプタの接続用

コンポーネント	説明
ドックコネクタ	タブレット PC とドッキングステーションの接続用
Windows ボタン	Windows のスタート画面を起動する
ケンジントロック (セキュリティワイヤ) 用スロット	ケンジントンに準拠したセキュリティロックの接続用
音量ボタン	音量の調節用
オン/オフボタン	タブレット PC のオン/オフを行う

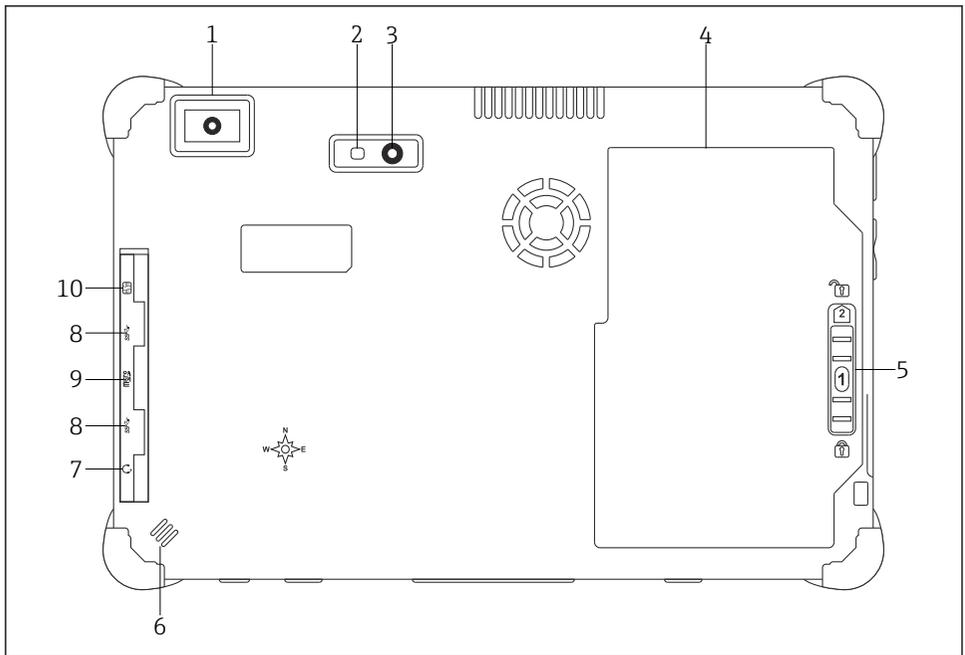


図 2 タブレット PC の背面図

- 1 バーコードスキャナ
- 2 カメラ用 LED ストロボ
- 3 カメラ
- 4 バッテリー収納部
- 5 バッテリー収納部のロック解除ボタン
- 6 スピーカ
- 7 複合オーディオジャック
- 8 2 x USB 3.0
- 9 マイクロ SD カード用メモリカードスロット
- 10 SIM カードスロット

コンポーネント	説明
バーコードスキャナ	バーコードのスキャン用
カメラ用 LED ストロボ	周囲光が不十分な場合に補助光として使用する
カメラ	写真撮影用
バッテリー収納部	バッテリーを収納する
バッテリー収納部のロック解除ボタン	ボタンを押したままにすると、バッテリー収納部のロックが解除される
スピーカ	音声用スピーカ
SIM カードスロット	SIM カード (WWAN (LTE+GPS) 用) の挿入用
2 x USB 3.0	<p>USB 3.0 対応の周辺機器の接続用</p> <p>⚠ 警告</p> <p>危険場所で USB 接続を使用する場合： 爆発の可能性があります。</p> <p>▶ 危険場所では、必ず防爆対応のタブレット端末と MACTek VIATOR Bluetooth HART モデムまたは FieldPort SFP50 を使用してください。</p>
メモリカードスロット	マイクロ SD メモリカード、および SD、SDXC、SDHC メモリカード (アダプタを使用) の挿入用
複合オーディオジャック	ヘッドホン、外付けスピーカ/マイクの接続用

3.1 適用分野

機器設定用のタブレット PC を使用して、危険場所と非危険場所のモバイルプラントアセット管理を実現します。これは、設定およびメンテナンスの担当者が、デジタル通信インタフェースを使用してフィールド機器を管理し、進捗状況を記録するために適しています。このタブレット PC は完全なソリューションとして設計されており、操作性に優れ、タッチ操作にも対応しています。この PC を使用して、フィールド機器のライフサイクル全体を管理できます。さまざまなドライバライブラリがプレインストールされているため、機器のライフサイクル全体にわたって「産業用 IoT」および機器情報や関連資料に容易にアクセスできます。タブレット PC には、最新のソフトウェアユーザーインタフェースが採用されており、安全性に優れた Microsoft Windows 10 の高機能環境のオンラインアップデートを適用することもできます。

3.2 ライセンスモデル

Field Xpert ソフトウェアは、タブレット PC にインストールされた状態で納入されます。

ソフトウェアを目的の用途で使用するためには、まずソフトウェアのアクティベーションが必要です。これを行うには、Endress+Hauser のソフトウェアポータルユーザーアカウントが必要になります。

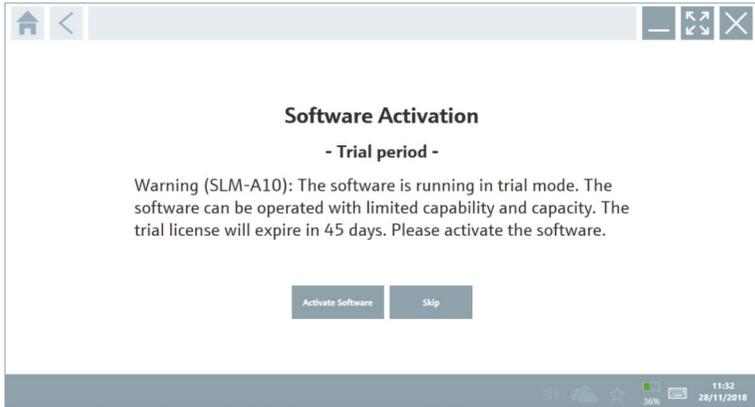


Endress+Hauser ソフトウェアポータル：

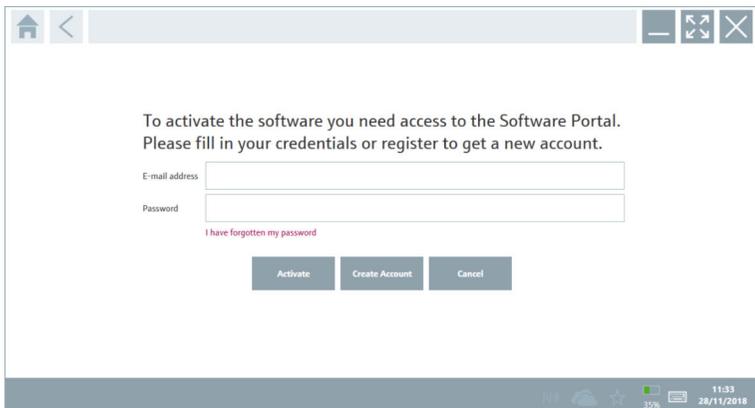
<https://www.software-products.endress.com/>

Field Xpert ソフトウェアのアクティベーション

1. タブレット PC のスタート画面で **Field Xpert** ショートカットをタップします。
 - ↳ ライセンスがまだアクティベートされていない場合は、ソフトウェアをアクティベートするためのページが開きます。



2. **Activate Software** をタップします。
 - ↳ 次のページが表示されます。



3. **E-mail address** と **Password** を入力し、**Activate** をタップします。
 - ↳ ダイアログボックスに、"The application has been activated successfully." というメッセージが表示されます。
4. **Show license** をタップします。
 - ↳ ダイアログボックスに、ライセンスに関する情報が表示されます。
5. **Close** をタップします。
 - ↳ Field Xpert ソフトウェアのスタート画面が開きます。

4 受入検査および製品識別表示

4.1 納品内容確認

外観検査

- 輸送時の梱包の損傷がないかどうかを点検する
- 梱包を丁寧に開封する
- 各納入品目に損傷がないかどうかを点検する
- すべての納入品目が揃っており、欠品がないことを確認する
- すべての付属資料を保管する



納入品目の損傷が事前に確認された場合、機器を稼働しないでください。この場合は、お近くの弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください：

www.addresses.endress.com

可能な場合は納入時の梱包を使用して、機器を **Endress+Hauser** まで返却してください。

納入範囲

- Field Xpert SMT70 タブレット PC (ハンドル付き)
- AC 充電器 (100~240 V_{AC}、1.5 A、50~60 Hz)、注文に応じた接続ケーブル付き
- ご注文のソフトウェアおよびインターフェイス/モデム
- 取扱説明書および安全上の注意事項 (Ecom)

4.2 製品識別表示

4.2.1 銘板



- 1 Endress+Hauser ソフトウェア ID
- 2 Endress+Hauser の製品名
- 3 Endress+Hauser のシリアル番号
- 4 製造者の銘板
- 5 製造者のモデル番号
- 6 製造者の技術情報
- 7 製造者のシリアル番号

4.2.2 製造者データ

 Ecom Instruments GmbH はタブレットハードウェアを担当し、Endress+Hauser 専用タブレットを製造しています。

ハードウェア

Ecom Instruments GmbH

Industriestraße 2

97959 Assamstadt

Germany

www.ecom-ex.com

ソフトウェア

Endress+Hauser Process Solutions AG

Christoph Merian-Ring 12

4153 Reinach

Switzerland

www.endress.com

4.3 保管および輸送



製品を輸送する場合は必ず納入時の梱包を使用してください。

4.3.1 保管温度

-20~60 °C (-4~140 °F)

5 設置

5.1 システム要件

Field Xpert ソフトウェアは、タブレット PC にインストールされた状態で納入されます。ソフトウェアのアクティベーションを行う必要があります。



ライセンスモデル → 14

5.2 ソフトウェアのアップデート



ソフトウェアアップデートサービス

包括的なメンテナンス期間はライセンスの作成時に開始し、1年後に自動的に終了します。

メンテナンスの有効期間中にソフトウェアリリースが公開された場合、後でソフトウェアアップデートを読み込むことも可能です。

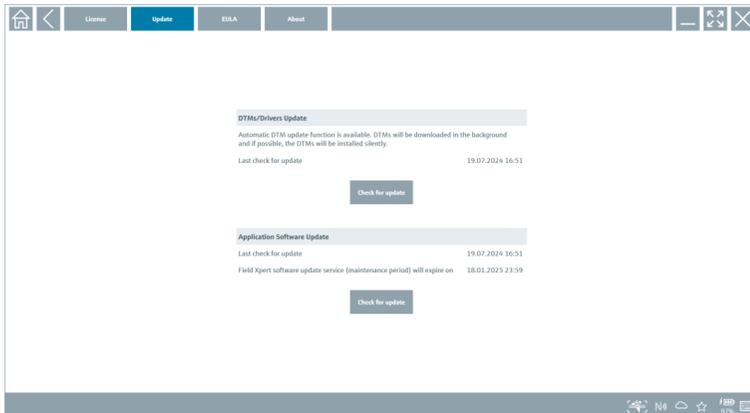


アップデートを検索するには、タブレット PC をインターネットに接続する必要があります。

1. Field Xpert ソフトウェアのスタート画面の  アイコンをタップします。

↳ 「License」 ページが表示されます。

2. **Update** タブをタップします。
 - ↳ 次のページが表示されます。



3. 「Application Software Update」の **Check for updates** をタップします。
 - ↳ Field Xpert ソフトウェアがアップデートの検索を開始します。

5.3 ソフトウェアの削除

注記

Field Xpert ソフトウェアのアンインストール

Field Xpert を目的の用途で使用できなくなります。

- ▶ タブレット PC から Field Xpert ソフトウェアをアンインストールしないでください。

6 操作

ハウジングとコンポーネントの損傷を防止してください。

- ▶ 必ず安定した表面に機器を配置してください。
- ▶ 通気用の開口部に蓋をしたり、物で塞いだりしないでください。
- ▶ 機器の近くに液体を置かないでください。
- ▶ 機器を直射日光にさらしたり、粉塵の多い環境で使用したりしないでください。
- ▶ 機器を過度の高温や高湿度の環境で使用しないでください。

6.1 ステータスインジケータ

タブレット PC のインターフェイス上のステータスインジケータは、該当する機能が有効になると即座に点灯します。



図 3 ステータスインジケータ

シンボル	意味	説明
	電源	システムの稼働中はLEDが緑色に点灯します。システムがスリープモードの場合はLEDが点滅します。
	無線通信	無線通信 (WLAN, WWAN, Bluetooth) のステータスを示します。少なくとも1つの無線通信オプションが有効な場合は、LEDが青色に点灯します。  無線通信のステータスを表示するには、「Quick Menu」アプリケーションをインストールする必要があります。
	バッテリー	バッテリーの充電状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 緑色：バッテリーは完全に充電されています ■ 黄色：バッテリーは充電中です ■ 黄色の点滅：充電中にエラーが発生しました ■ 赤色：バッテリーの残量が10%未満です ■ オフ：バッテリーは空です

6.2 タブレット PC のシャットダウン

 タブレット PC を正しくシャットダウンしてください。正しくシャットダウンしないと、保存していないデータが失われてしまいます。

▶ Windows アイコン →  → シャットダウンをタップします。

タブレット PC がシャットダウンされます。

 タブレット PC の電源が完全にオフになるまでは電源を切断しないでください。

6.3 タブレット PC をスリープモードにする

▶ 電源 LED が点滅するまで  ボタンを押したままにします。

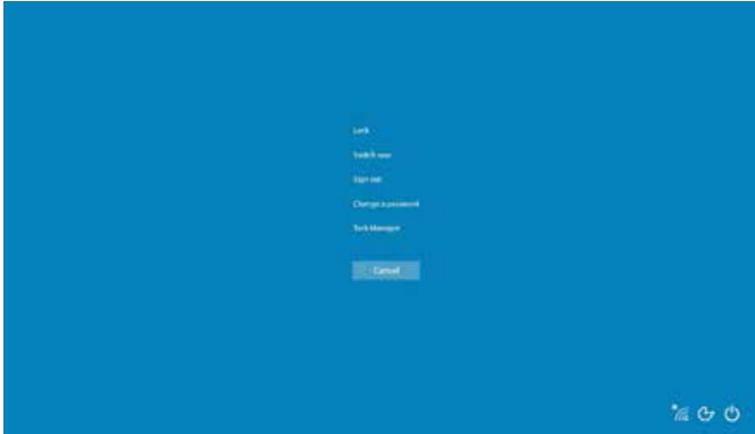
タブレット PC がスリープモードになります。

6.4 セキュリティ画面

 タブレット PC に外付けキーボードを使用しない場合、 と  キーを同時に押すと、Ctrl+Alt+Del キーの機能の代わりになります。

1.  と  キーを同時に押します。

↳ タブレット PC が Windows のセキュリティ画面に切り替わります。



2. 動作を選択します。

実行可能な動作：

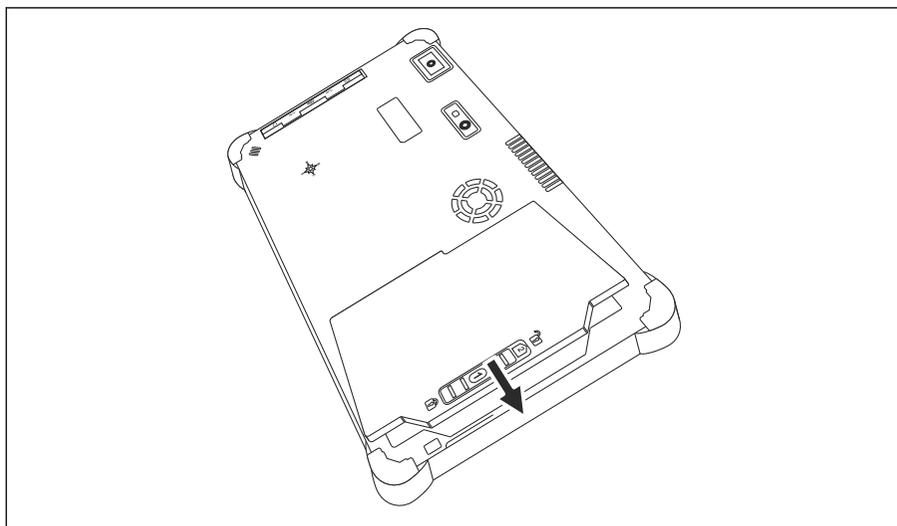
- 機器のロック
- 他のユーザーへの切替え
- ログアウト
- パスワードの変更
- タスクマネージャーの起動
- 機器のシャットダウンまたは再起動

7 設定

タブレット PC への電源供給には、AC アダプタまたはリチウムイオン電池を使用できません。

7.1 バッテリーの装着

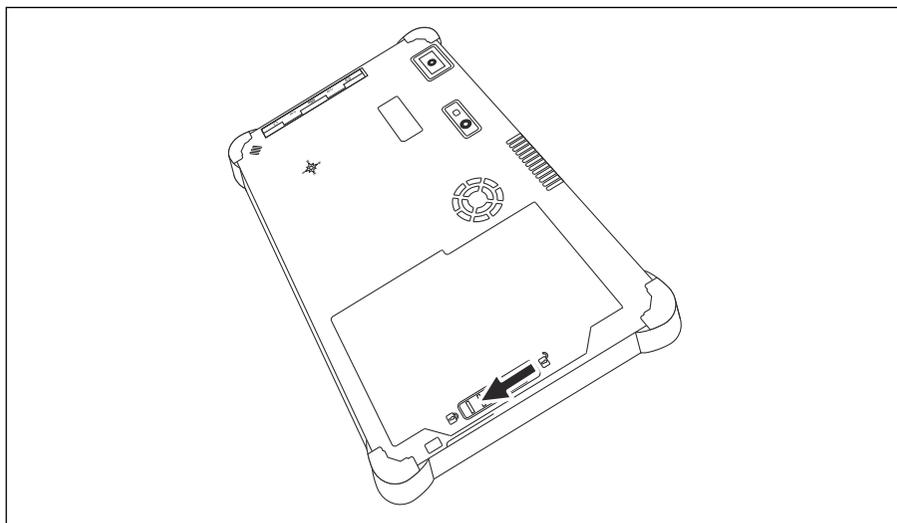
1.



バッテリーをバッテリー収納部に装着します。

2. カチッと音がするまでバッテリーを押し込みます。

3.



バッテリーロックを「ロック」位置までスライドさせます。

これでバッテリーが装着されます。



バッテリーの交換 : → 54

7.2 バッテリーの充電



輸送時の安全規制により、リチウムイオン電池は購入時には十分に充電されていません。

1. バッテリーを装着する必要があります。
AC アダプタをタブレット PC の DC ソケットに接続します。
2. AC アダプタを電源ケーブルに接続します。
3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。

7.3 タブレット PC の電源投入

▶ 電源 LED が点灯するまで  ボタンを押したままにします。
タブレット PC が起動します。

7.4 AC アダプタの接続

AC アダプタはタブレット PC に電源を供給し、バッテリーを充電します。



AC アダプタ使用時の注意：

電源ケーブルがコンセントに十分に届くように、機器をコンセントの近くに配置してください。

必ず機器の銘板に記載されている電源タイプを使用してください。

機器を長期間使用しない場合は、コンセントから AC アダプタを抜いてください。

1. AC アダプタをタブレット PC の DC ソケットに接続します。
2. AC アダプタを電源ケーブルに接続します。
3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。



タブレット PC に対応していない AC アダプタを使用しないでください。

タブレット PC をコンセントに接続し、バッテリーも装着している場合、タブレット PC の電源はコンセントから供給されます。

8 Field Xpert ソフトウェアの説明

8.1 「Connection」スタート画面

- ▶ タブレット PC のスタート画面で **Field Xpert** ショートカットをタップします。
- ↳ Field Xpert ソフトウェアが起動します。スタート画面が表示されます。

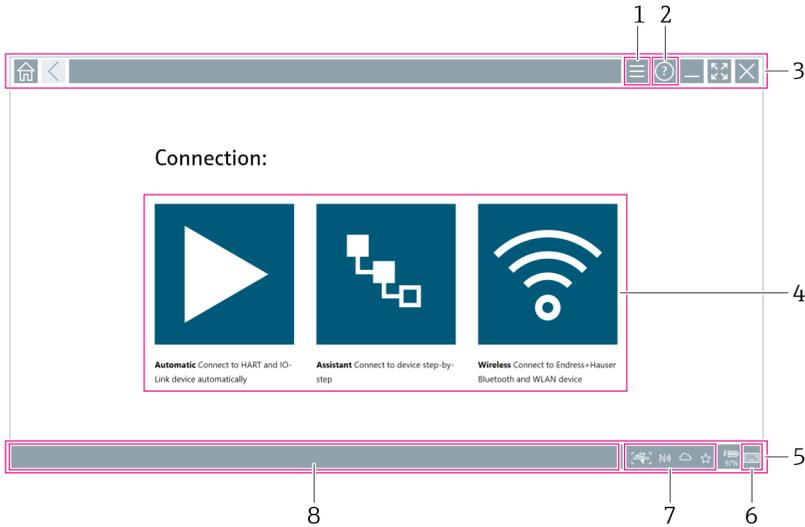
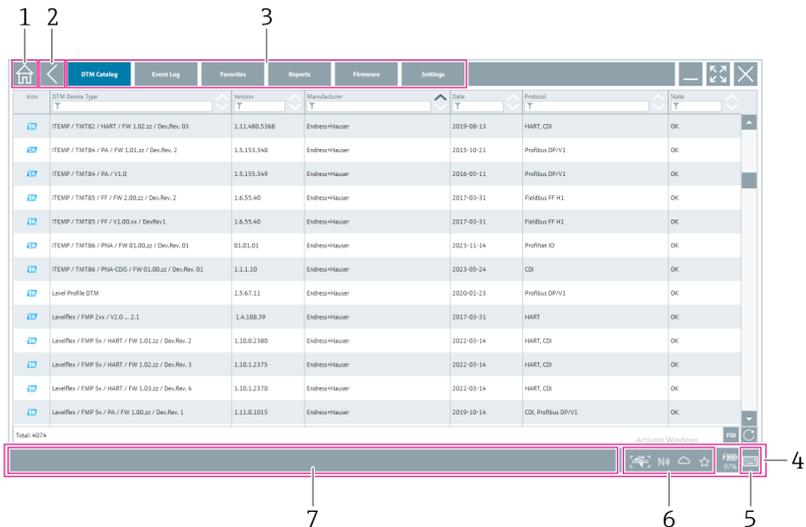


図 4 スタート画面の例

- 1 メニューページの呼び出し
- 2 情報ページの呼び出し
- 3 ヘッダー
- 4 フィールド機器との接続を確立するためのウィザード
- 5 フッター/ステータスバー
- 6 キーボードを開く
- 7 その他の機能へのアクセス (タブレット PC のバージョンに応じて異なる)
- 8 「Event Log」ページを開く

8.2 メニューページ

- ▶ スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
- ↳ 次のページが表示されます。



5 メニューページの例

- 1 「Connection」スタート画面を開く
- 2 前のページに戻る
- 3 その他のメニューページ
- 4 フッター/ステータスバー
- 5 キーパッドを開く
- 6 その他の機能へのアクセス (タブレット PC のバージョンに応じて異なる)
- 7 「Event Log」ページを開く

 メニューページの詳細情報：→  42

8.3 情報ページ

- ▶ スタート画面のヘッダーにある ⓘ アイコンをタップします。
 - ↳ 次のページが表示されます。

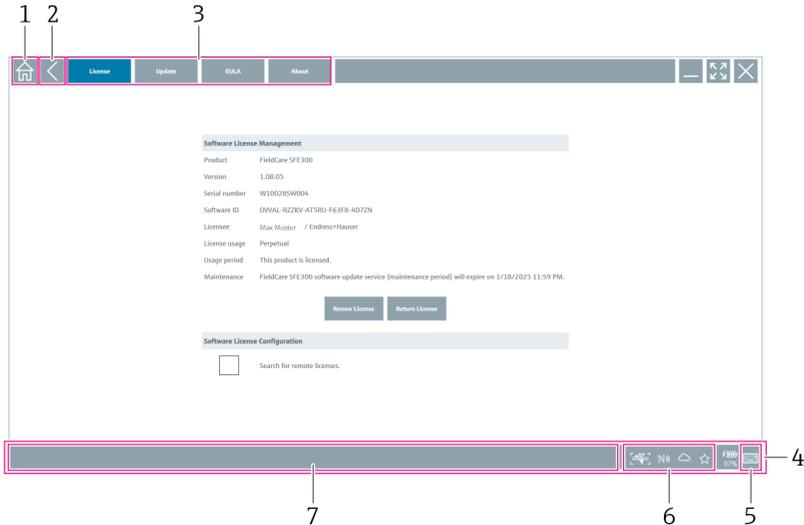


図 6 情報ページの例

- 1 「Connection」スタート画面を開く
- 2 前のページに戻る
- 3 追加情報ページ
- 4 フッター/ステータスバー
- 5 キーボードを開く
- 6 その他の機能へのアクセス（タブレット PC のバージョンに応じて異なる）
- 7 「Event Log」ページを開く

 情報ページの詳細情報：→  48

9 通信ドライバおよびデバイスドライバのインストール

タブレット PC とフィールド機器間の通信を可能にするには、必要なすべての通信ドライバとデバイスドライバが Field Xpert ソフトウェアで使用できる状態でなければなりません。通信プロトコルおよびフィールド機器に応じて、これらのドライバは DTM、FDI、または IODD として入手可能です。

9.1 DTM

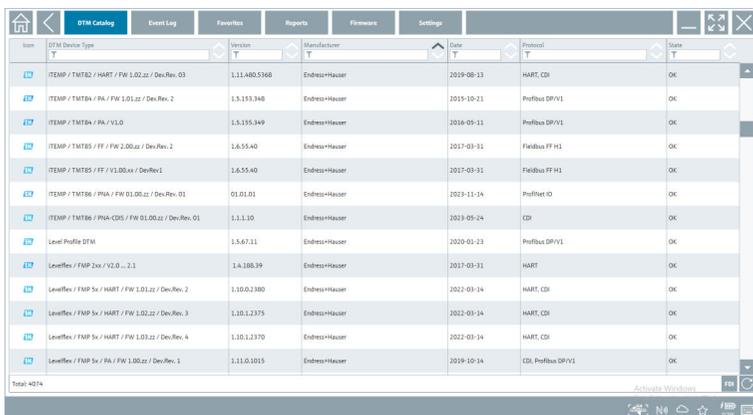
Field Xpert ソフトウェアを起動し、タブレット PC がインターネットに接続されると、ソフトウェアは自動的に新しい DTM を検索します。新しい DTM はタブレット PC にダウンロードされ、自動的にインストールされます。

 FDI を手動でダウンロードし、FDI Package Manager →  28 を使用してタブレット PC にインストールする必要があります。

IODD を手動でダウンロードし、IODD DTM Configurator →  29 を使用してタブレット PC にインストールする必要があります。

DTM カタログを開く

- ▶ Field Xpert ソフトウェアのスタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
- ↳ 「DTM Catalog」 ページが表示されます。



Item	DTM Device Type	Version	Manufacturer	Date	Protocol	State
	TEMP / TMTS2 / HART / FW 1.0.0.22 / Dev/Rev. 03	1.1.140.5368	Endress+Hauser	2019-08-13	HART_CDS	OK
	TEMP / TMTS6 / PA / FW 1.0.1.02 / Dev/Rev. 2	1.5.153.348	Endress+Hauser	2015-10-21	Profibus DPV1	OK
	TEMP / TMTS6 / PA / V1.0	1.5.155.349	Endress+Hauser	2016-05-11	Profibus DPV1	OK
	TEMP / TMTS5 / FF / FW 2.0.0.22 / Dev/Rev. 2	1.6.55.40	Endress+Hauser	2017-03-31	Fieldbus FF H1	OK
	TEMP / TMTS5 / FF / V1.00.04 / Dev/Rev.1	1.6.55.40	Endress+Hauser	2017-03-31	Fieldbus FF H1	OK
	TEMP / TMTS6 / PNA / FW 01.00.02 / Dev/Rev. 01	01.01.01	Endress+Hauser	2023-11-14	ProfNet ID	OK
	TEMP / TMTS6 / PNA-CDS / FW 1.0.0.02 / Dev/Rev. 01	1.1.1.10	Endress+Hauser	2023-05-24	CDI	OK
	Level Profile DTM	1.5.67.11	Endress+Hauser	2020-01-23	Profibus DPV1	OK
	Levelflex / FMP 2xx / V2.0...2.1	1.4.188.39	Endress+Hauser	2017-03-31	HART	OK
	Levelflex / FMP 5x / HART / FW 1.0.1.02 / Dev/Rev. 2	1.10.0.2300	Endress+Hauser	2022-03-14	HART_CDS	OK
	Levelflex / FMP 5x / HART / FW 1.0.2.02 / Dev/Rev. 3	1.10.1.2375	Endress+Hauser	2022-03-14	HART_CDS	OK
	Levelflex / FMP 5x / HART / FW 1.0.3.02 / Dev/Rev. 4	1.10.1.2370	Endress+Hauser	2022-03-14	HART_CDS	OK
	Levelflex / FMP 5x / PA / FW 1.0.0.22 / Dev/Rev. 1	1.11.0.1055	Endress+Hauser	2019-10-14	CDI, Profibus DPV1	OK

DTM カタログの更新

- ▶ 「DTM Catalog」 ページの  アイコンをタップします。
- ↳ Field Xpert ソフトウェアは、タブレット PC に最近インストールされたドライバを検索します。
- 「DTM catalog refresh is running」 メッセージが表示されます。
- フッターの青いプログレスバーと回転する円が進行状況を示します。
- DTM カタログの更新には数分かかることがあります。

 「Update」 ページを使用して、サーバー上の新しい DTM を検索できます。→  49

Field Xpert ソフトウェアから FDI Package Manager の起動

- ▶ 「DTM Catalog」 ページで  アイコンをタップします。

デバイスドライバのオフライン表示

- ▶ 目的のデバイスドライバの行をタップします。
 - ↳ デバイスドライバがオフラインで表示されます。

 この機能は、機器ドライバがオフライン表示をサポートする場合にのみ使用できません。

9.2 FDI – FDI Package Manager

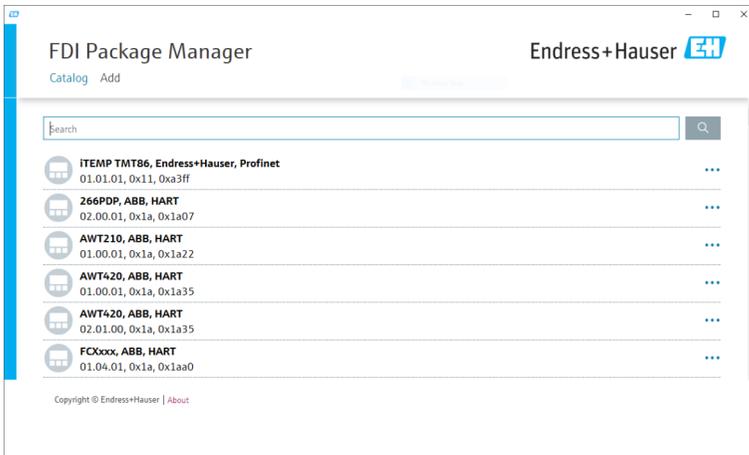
要件

必要なドライバがタブレット PC にダウンロードされていること

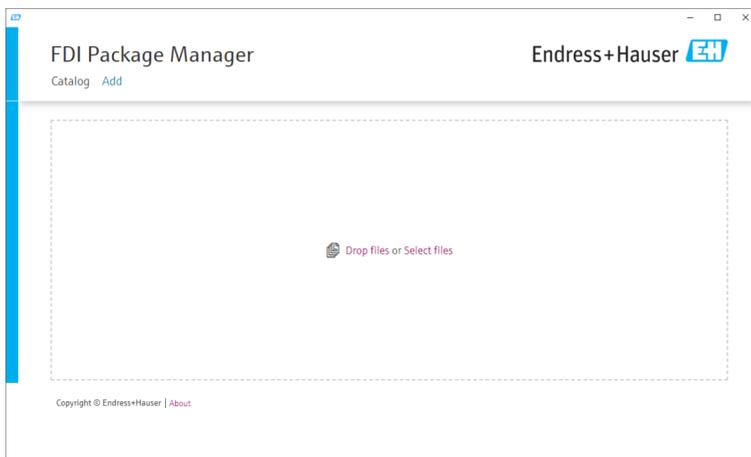
 Endress+Hauser 製フィールド機器については、関連する製品ページまたは Endress+Hauser ソフトウェアポータルからデバイスドライバをダウンロードできます。ソフトウェアポータルに登録する必要があります。

ソフトウェアポータル：<https://www.software-products.endress.com>

1. タブレット PC のスタート画面で **FDI Package Manager** ショートカットをタップします。
 - ↳ タブレット PC にインストールされているすべての FDI ファイルの一覧が表示されます。



2. ヘッダーの **Add** をタップします。
 - ↳ 「Add」 ページが表示されます。



3. **Drop files or Select files** をタップして、FDI ファイルを選択します。
 - ↳ FDI ファイルはタブレット PC に自動的にインストールされます。
新しいドライバが「Catalog」ページに表示されます。
Field Xpert ソフトウェアでは、DTM カタログを更新すると、新しいドライバが「DTM Catalog」ページに表示されます。→ 27

9.3 IODD – IODD DTM Configurator

要件

必要なドライバがタブレット PC にダウンロードされていること

 Endress+Hauser 製フィールド機器については、関連する製品ページまたは Endress+Hauser ソフトウェアポータルからデバイスドライバをダウンロードできます。ソフトウェアポータルに登録する必要があります。

ソフトウェアポータル: <https://www.software-products.endress.com>

または、IODD サーバーの「Add IODDs from IODDfinder」機能を使用して、「IODD DTM Configurator」経由でデバイスドライバをダウンロードすることも可能です。

1. タブレット PC のスタート画面で **IODD DTM Configurator** ショートカットをタップします。
 ↳ 以下の画面が表示されます。

Installed IODDs									
Vendor	Device	Vendor ID	Device ID	File version	Release date	IO-Link revision	IODD file	CRC stamp	
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Liquiphant FTL3k	17	1024	V01.00.00	2019-12-10	1.1	EH-FTL3k-20191210-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Liquiphant FTW33	17	1280	V01.00.00	2019-02-22	1.1	EH-FTW33-20190222-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Smartec CLD18	17	131329	V01.00.03	2021-07-09	1.1	EH-CLD18-20210709-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Liquitrend GMW43	17	1536	V01.00.00	2019-12-06	1.1	EH-GMW43-20191206-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenaphant FTx3k	17	1752	V01.00.02	2020-02-10	1.1	EH-FTx3k-20200210-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenaphant FTx3k	17	1793	V01.00.03	2023-07-19	1.1	EH-FTx3k-20230719-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	ITHERM CompactLine TMS11	17	196864	V01.00.03	2022-09-30	1.1	EH-TMS11-20220930-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenabar PMA5x	17	2043	V01.00.01	2021-10-06	1.1	EH-PMA5x-20211006-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Deltaplot FMB50	17	2304	V01.00.01	2021-10-06	1.1	EH-FMB50-20211006-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenabar PMP23	17	256	V01.00.02	2017-10-23	1.1	EH-PMP23-20171023-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenabar PMP23	17	257	V01.00.04	2019-06-26	1.1	EH-PMP23-20190626-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenabar PMP23	17	258	V01.00.05	2023-08-10	1.1	EH-PMP23-20230810-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Cenabar PMA21	17	3841	V01.00.00	2023-08-10	1.1	EH-PMA21-20230810-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Liquiphant FTW23	17	512	V01.00.00	2017-10-19	1.1	EH-FTW23-20171019-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Picomag	17	65792	V01.00.00	2017-11-30	1.1	EH-PICOMAG-20171130-IODD1.1.xml	✓
<input type="checkbox"/>	Endress+Hauser	Picomag	17	65793	V01.01.02	2021-11-17	1.1	EH-PICOMAG-20211117-IODD1.1.xml	✓

2. **Add IODD**、**Add IODD collection (Folder)**、または **Add IODD collection (Zip)** をタップします。
3. ファイル (*.xml または *.zip) またはフォルダを選択します。
 ↳ ファイルはタブレット PC に自動的にインストールされます。
 新しいドライバが「Installed IODDs」テーブルに表示されます。
 Field Xpert ソフトウェアでは、DTM カタログを更新すると、新しいドライバが「DTM Catalog」ページに表示されます。→ 27

10 操作

注記

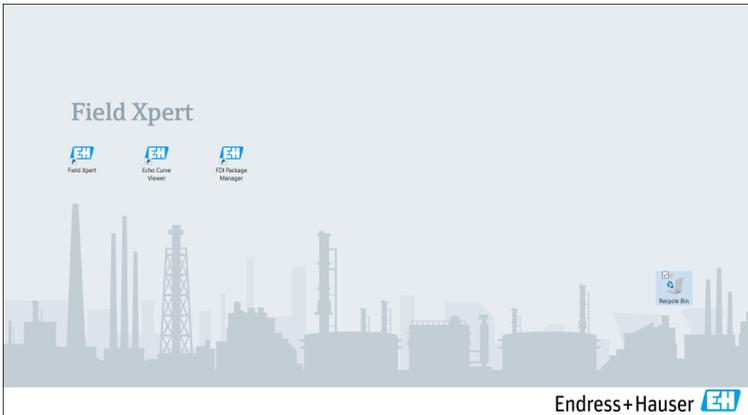
不適切な器具を使用した操作
画面が損傷します。

- ▶ 先端の尖った器具を画面操作に使用しないでください。

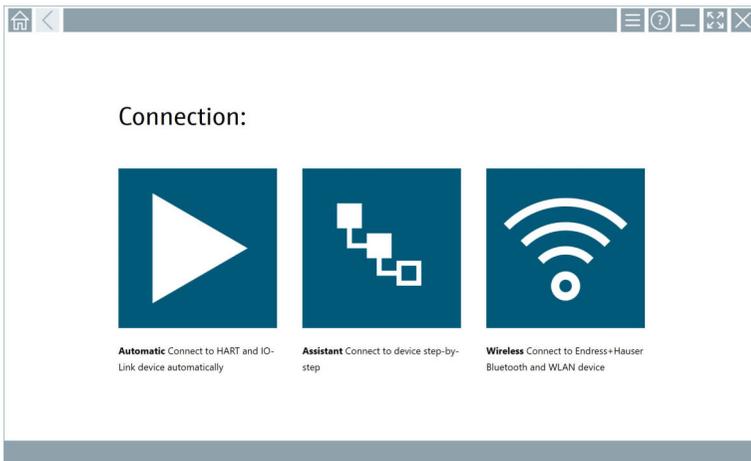
10.1 Field Xpert ソフトウェアの起動



Field Xpert ソフトウェアを初めて起動する場合、利用規約に同意する必要があります。



- ▶ タブレット PC のスタート画面で **Field Xpert** ショートカットをタップします。
 - ↳ **Field Xpert** ソフトウェアが起動します。スタート画面が表示されます。



i Field Xpert ソフトウェアにより、3つの異なる方法でフィールド機器との接続を確立することができます。どのバージョンが可能かは、プロトコル、インタフェース（モデム/ゲートウェイ）、およびフィールド機器に応じて異なります。

- 「接続タイプ、プロトコル、インタフェース」の詳細情報：→ 32
- 「接続の確立」の詳細情報：→ 33 ~ → 38

10.2 接続タイプ、プロトコル、インタフェースの概要

10.2.1 接続タイプの概要

Field Xpert ソフトウェアにより、3つの異なる方法でフィールド機器との接続を確立することができます。どのバージョンが可能かは、プロトコル、インタフェース（モデム/ゲートウェイ）、およびフィールド機器に応じて異なります。

接続タイプ	説明	プロトコル
	自動接続 フィールド機器（モデム）/フィールド機器との接続が自動的に確立されます。	<ul style="list-style-type: none"> ▪ HART ▪ IO-Link ▪ Endress+Hauser 製サービスインタフェース
	ウィザード インタフェース（モデム/ゲートウェイ）とフィールド機器との接続確立をステップバイステップで実行します。	<ul style="list-style-type: none"> ▪ HART ▪ PROFIBUS ▪ FOUNDATION フィールドバス ▪ Modbus ▪ IO-Link ▪ Endress+Hauser 製サービスインタフェース
	ワイヤレス Endress+Hauser 製 Bluetooth 機器または無線 LAN フィールド機器との接続を確立したい場合は、このオプションを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Bluetooth ▪ WLAN

10.2.2 接続タイプに応じたプロトコルとインタフェースの概要

「自動」接続

プロトコル	インタフェース（インタフェース/モデム）
HART	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Commubox FXA195 ▪ Viator Bluetooth IS モデム ▪ Viator USB モデム（PowerXpress 搭載） ▪ FieldPort SFP50
IO-Link	FieldPort SFP20
Endress+Hauser 製サービスインタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Commubox FXA291 CDI ▪ TXU10 V2 PCP ▪ CDI USB

「ウィザード」接続

プロトコル	インタフェース (インタフェース、モデム、ゲートウェイ)
HART	<ul style="list-style-type: none"> ■ Commubox FXA195 ■ Viator Bluetooth IS モデム ■ Viator USB モデム (PowerXpress 搭載) ■ FieldPort SFP50 ■ Fieldgate SFG250 ■ Memograph RSG45 ■ Tank Scanner NXA820 ■ FieldGate SWG50 ■ Fieldgate SWG70
PROFIBUS	<ul style="list-style-type: none"> ■ Softing PROFiusb ■ Softing PBpro USB ■ FieldPort SFP50 (PROFIBUS ライセンス付き) ■ Fieldgate SFG500
PROFINET	PROFINET Comm DTM
FOUNDATION フィールドバス	<ul style="list-style-type: none"> ■ NI USB ■ FieldPort SFP50 (FOUNDATION フィールドバスライセンス付き) ■ Softing FFusb
Modbus	Modbus シリアル
IO-Link	FieldPort SFP20
Endress+Hauser 製サービスインタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ■ Commubox FXA291 CDI ■ Commubox FXA291 IPC、ISS、PCP ■ Commubox FXA193 IPC、ISS ■ TXU10 V2 CDI ■ TXU10 V2 PCP ■ TXU10 V1 PCP、CDI ■ CDI USB ■ CDI TCP/IP

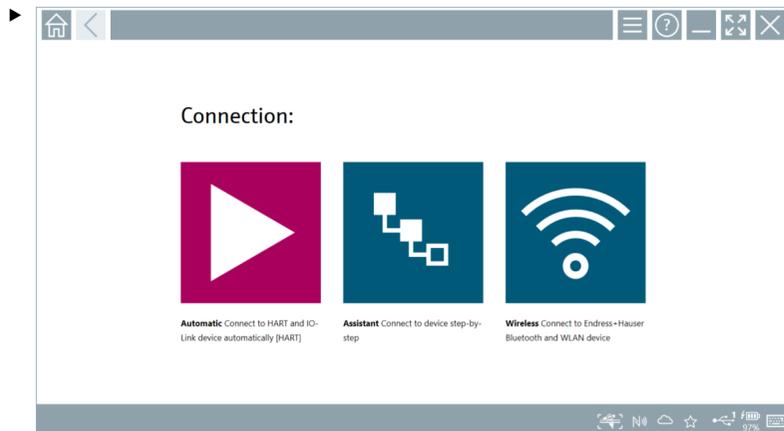
「Wireless」接続

プロトコル	インタフェース (無線信号)
Bluetooth	Endress+Hauser 製フィールド機器 (Bluetooth 機能搭載)
WLAN	Endress+Hauser 製 WLAN フィールド機器

10.3 「自動」接続の確立

要件

- 必要な通信ドライバとデバイスドライバがすべて Field Xpert ソフトウェアに組み込まれていること
- フィールド機器が、インタフェース (モデム) を介してタブレット PC の適切なインタフェースに接続されていること



▶ アイコンをタップします。

↳ Field Xpert ソフトウェアは、インタフェース（モデム）を介して接続先のフィールド機器との接続を確立します。

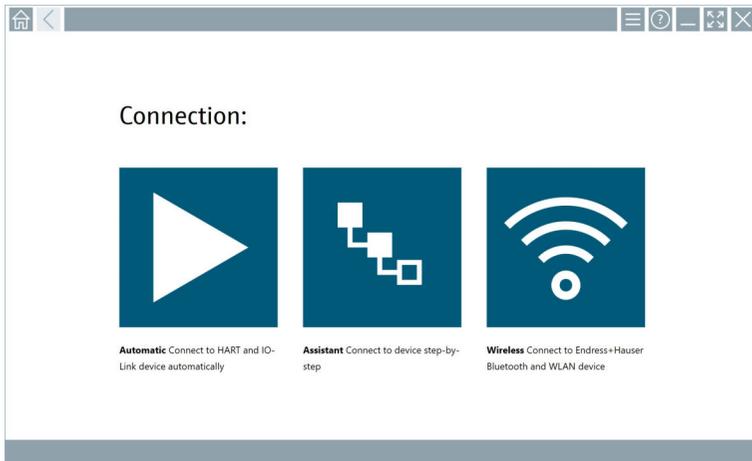
フィールド機器 DTM のページが表示されます。

10.4 「ウィザード」による接続の確立

要件

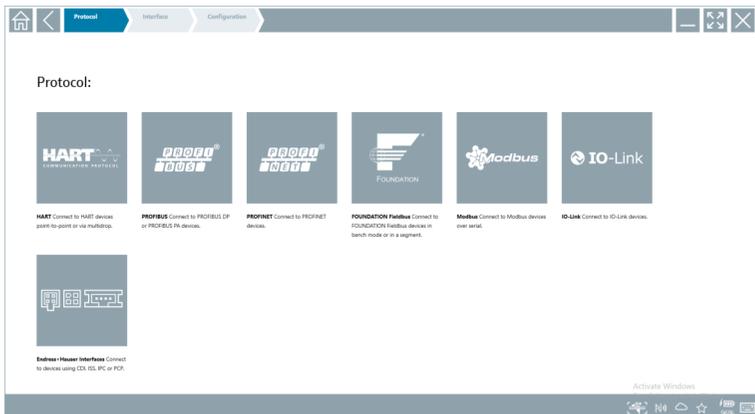
- 必要な通信ドライバとデバイスドライバがすべて Field Xpert ソフトウェアに組み込まれていること
- フィールド機器が、インタフェース（モデム/ゲートウェイ）を介してタブレット PC の適切なインタフェースに接続されていること

1.



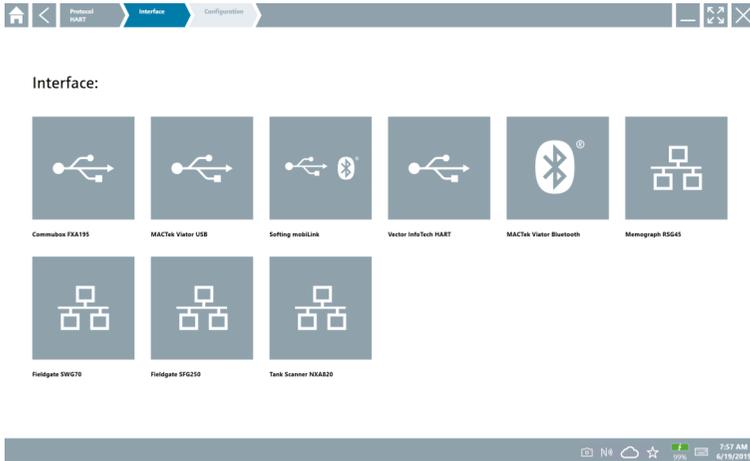
アイコンをタップします。

利用可能なすべてのプロトコルの一覧が表示されます。



2. プロトコルを選択します。

- ↳ サポートされているすべてのインタフェース（モデム/ゲートウェイ）の一覧が表示されます。



3. インタフェースを選択します。

- ↳ 残りのステップは、選択したインタフェースに応じて異なります。Field Xpert ソフトウェアが、必要なステップをガイドします。あるページに  アイコンが表示された場合は、これをタップして次のステップに進む必要があります。

4. 必要に応じて、インタフェース（モデム/ゲートウェイ）を設定します。

5. 必要に応じて、DTM を選択します。

6. 必要に応じて、フィールド機器 DTM を選択します。

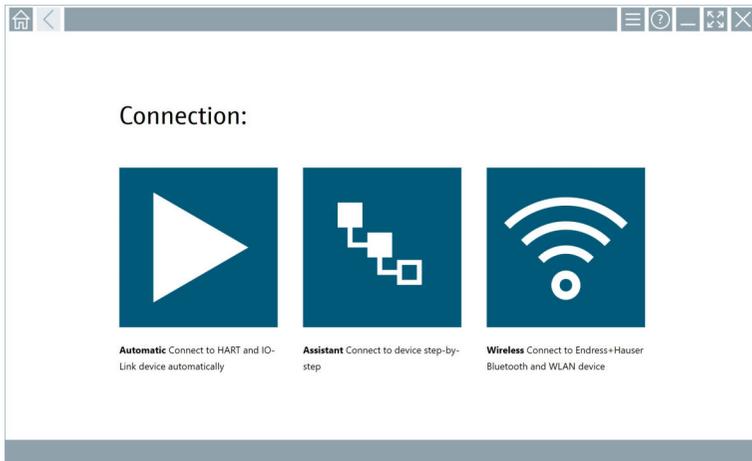
フィールド機器 DTM のページが表示されます。

10.5 「ワイヤレス」Bluetooth による接続の確立

要件

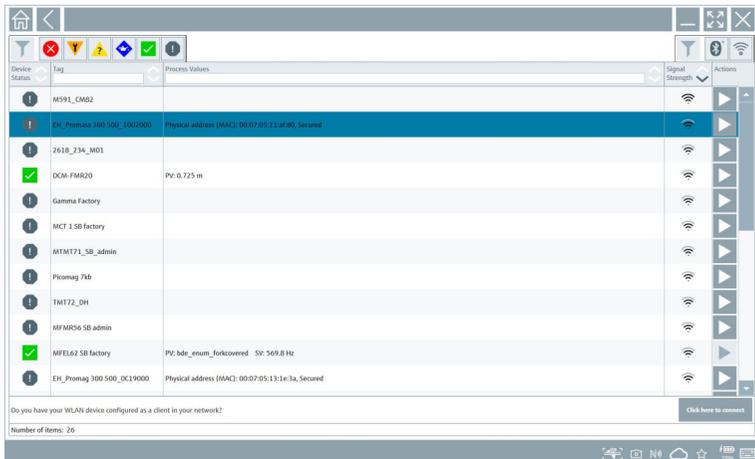
必要な通信ドライバとデバイスドライバがすべて Field Xpert ソフトウェアに組み込まれていること

1.



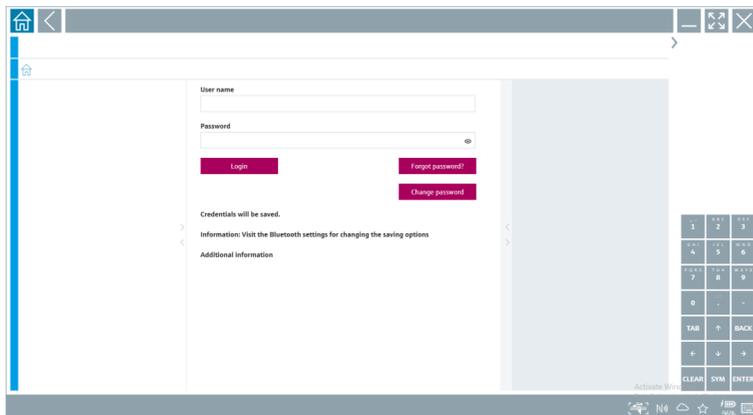
📶 アイコンをタップします。

- ▶ 使用可能なすべての Endress+Hauser 製 Bluetooth 機器および WLAN フィールド機器のライブラリが表示されます。



ライブラリ内で Bluetooth 機器および WLAN フィールド機器をフィルタリングすることが可能です。📶 アイコンをタップすると、Bluetooth フィールド機器のフィルタのオン/オフが切り替わります。📶 アイコンをタップすると、WLAN フィールド機器のフィルタのオン/オフが切り替わります。

- 設定するフィールド機器の横にある ▶ アイコンをタップします。
↳ フィールド機器のログインページが表示されます。



- User Name (admin)** と **Password** を入力して **Login** をタップします。

フィールド機器のフィールド機器 DTM (デフォルト)、またはフィールド機器 MSD のページが表示されます。

- i** 初期パスワードはフィールド機器のシリアル番号です。
リセットコードについては、当社サービスにお問い合わせください。

10.6 「無線」LAN による接続の確立

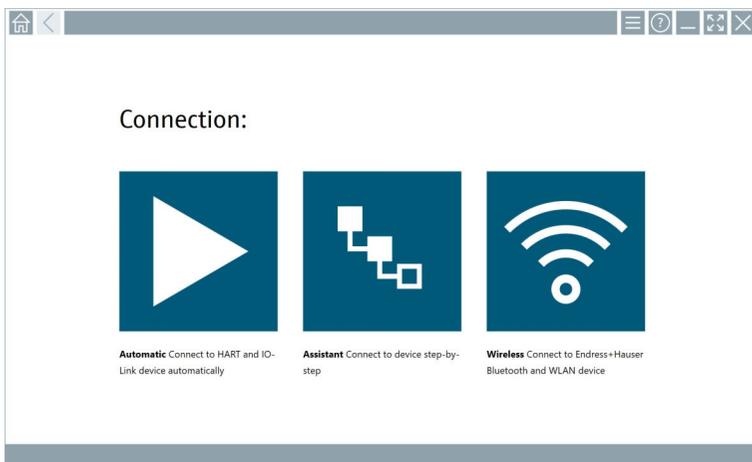
要件

必要な通信ドライバとデバイスドライバがすべて Field Xpert ソフトウェアに組み込まれていること

- i** WLAN フィールド機器がすでにクライアントとして WLAN ネットワークに組み込まれている場合は、WLAN フィールド機器に直接アクセスできます。→ 図 41

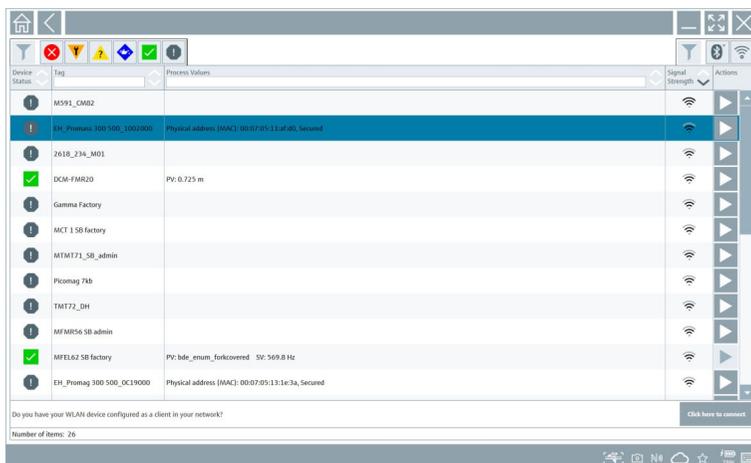
WLAN フィールド機器がクライアントとして WLAN ネットワークに組み込まれていない場合の手順

1.



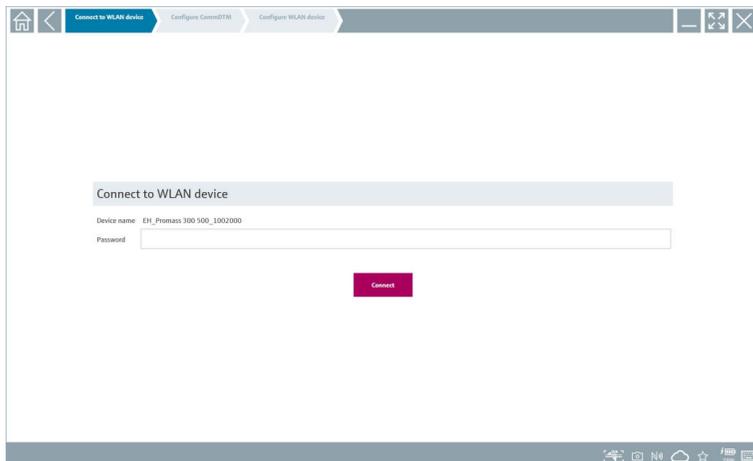
 アイコンをタップします。

- ▶ 使用可能なすべての Endress+Hauser 製 Bluetooth 機器および WLAN フィールド機器のライブラリが表示されます。



 ライブラリ内で Bluetooth 機器および WLAN フィールド機器をフィルタリングすることが可能です。 アイコンをタップすると、Bluetooth フィールド機器のフィルタのオン/オフが切り替わります。 アイコンをタップすると、WLAN フィールド機器のフィルタのオン/オフが切り替わります。

- 設定したいフィールド機器の横の ▶ アイコンをタップします。
↳ フィールド機器の WLAN 接続のページが表示されます。

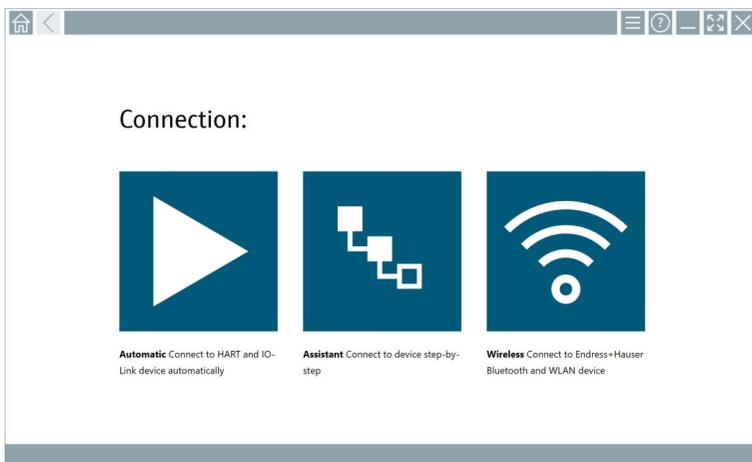


i 初期パスワードはフィールド機器のシリアル番号です。

- Password** を入力して **Connect** をタップします。
↳ IP アドレス設定のページが表示されます。
- IP アドレスは変更せず、そのままにしてください。
- ▶ アイコンをタップします。
↳ 「Device DTM」 ページが表示されます。
- 「Select DTM」 セクションで、フィールド機器に必要な DTM を選択します。
フィールド機器 DTM のページが表示されます。

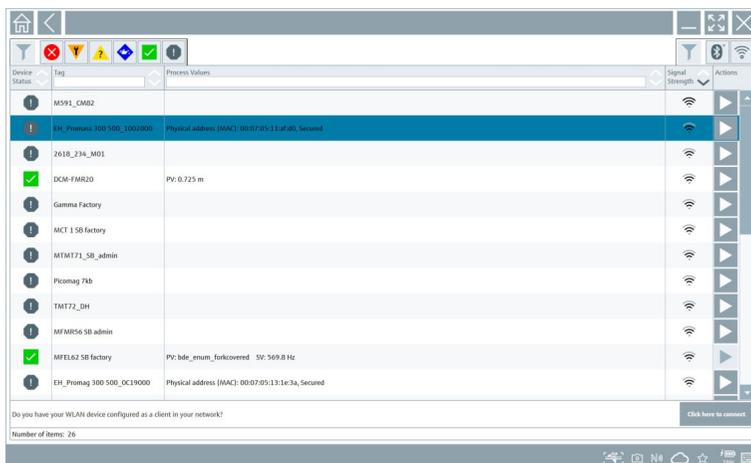
WLAN フィールド機器がすでにクライアントとして WLAN ネットワークに組み込まれている場合の手順

1.



 アイコンをタップします。

- ▶ 使用可能なすべての Endress+Hauser 製 Bluetooth 機器および WLAN フィールド機器のライブラリが表示されます。



2. 接続を確立する WLAN フィールド機器を選択します。

3. リストの下にある **Click here to connect** をタップします。

4. フィールド機器の IP アドレスを入力します。

5.  アイコンをタップします。

- ▶ 「Device DTM」 ページが表示されます。

フィールド機器 DTM のページが表示されます。

10.7 メニューページ

10.7.1 DTM カタログ

- ▶ スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
 - ↳ 「DTM Catalog」ページに、利用可能なすべてのDTM、FDI、IODDの一覧が表示されます。

Icon	DTM Device Type	Version	Manufacturer	Date	Protocol	Status
	TEMP / TMT82 / HART / FW 1.00.22 / Dev.Rev. 03	1.11.A90.0368	Endress+Hauser	2019-08-13	HART, CDI	OK
	TEMP / TMT84 / PA / FW 1.01.22 / Dev.Rev. 2	1.15.153.348	Endress+Hauser	2019-10-21	Profibus DP/V1	OK
	TEMP / TMT84 / PA / VLD	1.5.155.349	Endress+Hauser	2016-05-11	Profibus DP/V1	OK
	TEMP / TMT85 / FF / FW 1.00.22 / Dev.Rev. 2	1.6.55.40	Endress+Hauser	2017-03-31	Fieldbus FF H1	OK
	TEMP / TMT85 / FF / VLD Lux / Dev.Rev.1	1.6.55.40	Endress+Hauser	2017-03-31	Fieldbus FF H1	OK
	TEMP / TMT86 / PA / FW 01.00.22 / Dev.Rev. 01	01.01.01	Endress+Hauser	2023-11-14	Profinet IO	OK
	TEMP / TMT86 / PA / CDI5 / FW 01.00.22 / Dev.Rev. 01	1.1.1.10	Endress+Hauser	2023-05-24	CDI	OK
	Level Profile DTM	1.5.67.11	Endress+Hauser	2020-01-23	Profibus DP/V1	OK
	LevelFlex / FMP 2xx / VLD ... 1.1	1.4.108.39	Endress+Hauser	2017-03-31	HART	OK
	LevelFlex / FMP 5x / HART / FW 1.03.22 / Dev.Rev. 2	1.10.0.2380	Endress+Hauser	2022-03-14	HART, CDI	OK
	LevelFlex / FMP 5x / HART / FW 1.02.22 / Dev.Rev. 3	1.10.1.2375	Endress+Hauser	2022-03-14	HART, CDI	OK
	LevelFlex / FMP 5x / HART / FW 1.03.22 / Dev.Rev. 4	1.10.1.2370	Endress+Hauser	2022-03-14	HART, CDI	OK
	LevelFlex / FMP 5x / PA / FW 1.00.22 / Dev.Rev. 1	1.11.0.1015	Endress+Hauser	2019-10-14	CDI, Profibus DP-V1	OK

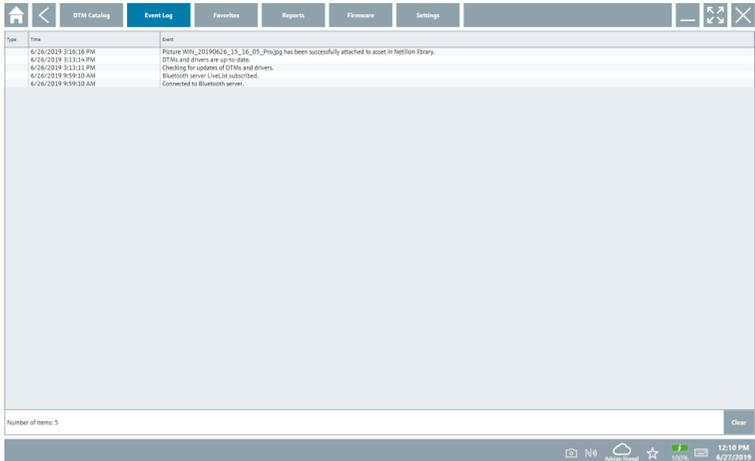
Total: 4074

 「DTM Catalog」ページの詳細情報：→  27

10.7.2 イベントログ

1. スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
 - ↳ 「DTM Catalog」ページが表示されます。

2. **Event Log** タブをタップします。
 - ↳ イベントの一覧が表示されます。

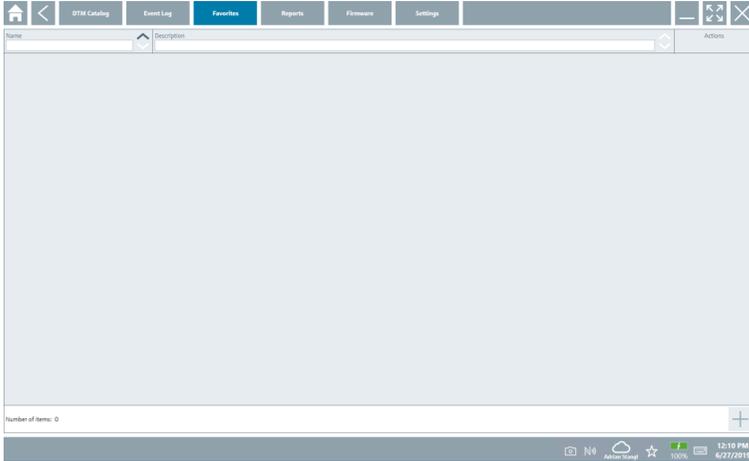


-  または、フッターのグレー部分をタップすると「Event log」が開きます。
Clear ボタンを使用して、表示されているイベントを削除できます。

10.7.3 お気に入り

1. スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
 - ↳ 「DTM Catalog」 ページが表示されます。

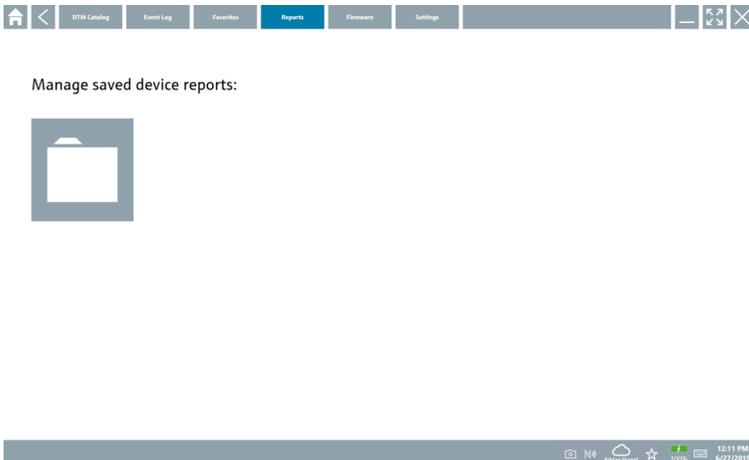
2. **Favorites** タブをタップします。
↳ すべてのお気に入りの一覧が表示されます。



i または、フッターの ☆ アイコンをタップすると、「Favorites」ページにアクセスできます。

10.7.4 レポートの管理

1. スタート画面のヘッダーにある ≡ アイコンをタップします。
↳ 「DTM Catalog」ページが表示されます。
2. **Reports** タブをタップします。
↳ "Manage saved device reports" フォルダの一覧が表示されます。



3. "Manage saved device reports" フォルダをタップします。

- ↳ すべての機器レポートが保存されたフォルダが **Internet Explorer** に表示されます。

10.7.5 ファームウェア

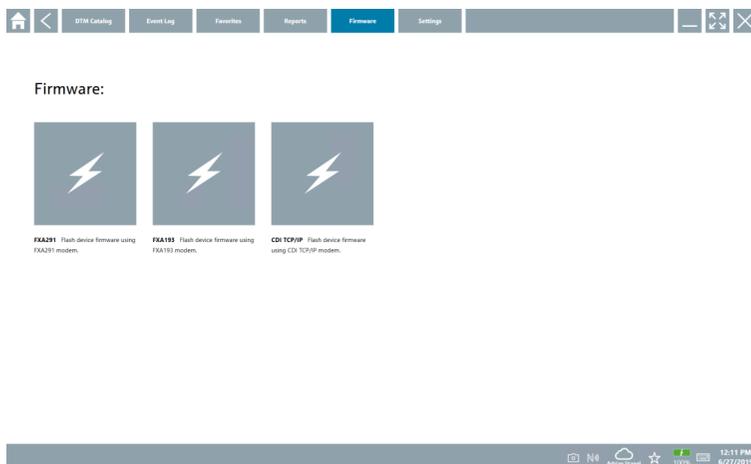
「Firmware」ページを使用して、フィールド機器をフラッシュすることが可能です。そのためには、フィールド機器は、指定されたサービスインタフェースの1つを介して接続されていなければなりません。

1. スタート画面のヘッダーにある アイコンをタップします。

- ↳ 「DTM Catalog」ページが表示されます。

2. **Firmware** タブをタップします。

- ↳ 利用可能なサービスインタフェースの一覧が表示されます。



3. 使用するサービスインタフェースをタップします。

4. 指示に従ってフィールド機器をフラッシュします。

10.7.6 設定

 設定に関する情報：→  45

10.8 設定

10.8.1 言語

1. スタート画面のヘッダーにある アイコンをタップします。

- ↳ 「DTM Catalog」ページが表示されます。

2. Settings タブをタップします。

- ↳ 利用可能なすべての言語の一覧が表示されます。

**3.** 目的の言語をタップします。

- ↳ プロンプトを含むダイアログボックスが表示されます。

4. 言語を変更したい場合は、**Yes** を選択します。言語を変更しない場合は、**No** を選択します。

- ↳ 「Yes」を選択すると Field Xpert ソフトウェアが再起動します。選択した言語が有効になります。

10.8.2 接続**1.** スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。

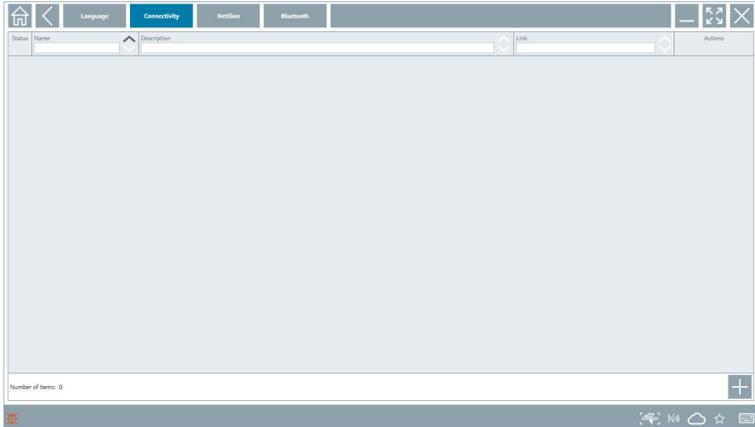
- ↳ 「DTM Catalog」ページが表示されます。

2. Settings タブをタップします。

- ↳ 「Language」ページが表示されます。

3. **Connectivity** タブをタップします。

- ↳ 現在までのすべての接続と削除されていない接続の一覧が表示されます。



10.8.3 Netilion

1. スタート画面のヘッダーにある ☰ アイコンをタップします。

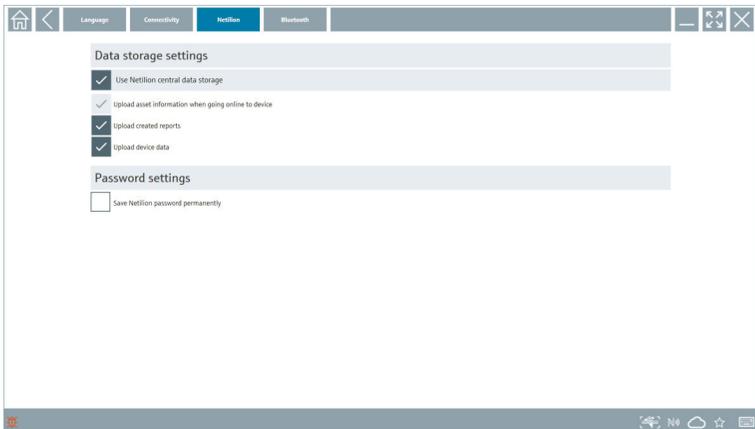
- ↳ 「DTM Catalog」 ページが表示されます。

2. **Settings** タブをタップします。

- ↳ 「Language」 ページが表示されます。

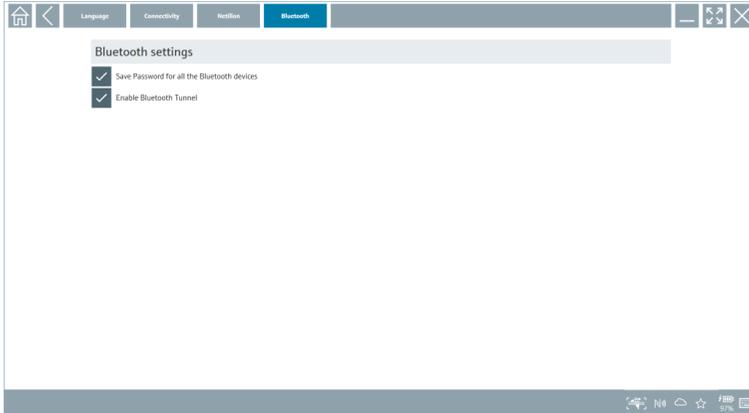
3. **Netilion** タブをタップします。

- ↳ データ保存の設定が表示されます。



10.8.4 Bluetooth

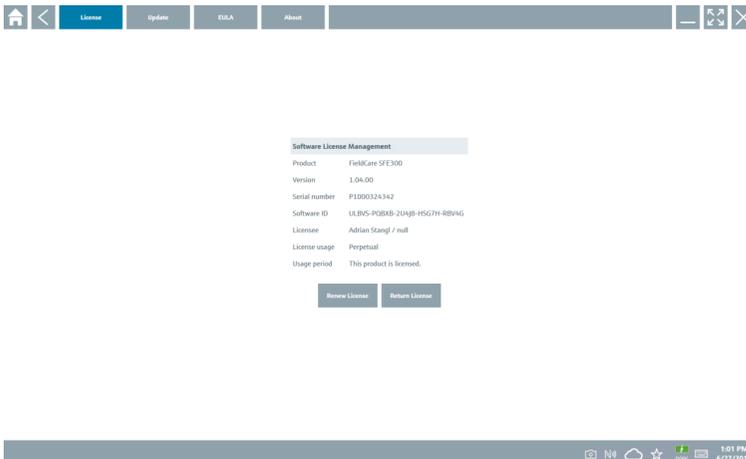
1. スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
↳ 「DTM Catalog」 ページが表示されます。
2. **Settings** タブをタップします。
↳ 「Language」 ページが表示されます。
3. **Bluetooth** タブをタップします。
↳ Bluetooth 設定が表示されます。



10.9 情報ページ

10.9.1 ライセンス

- ▶ スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
↳ ライセンスに関する情報が記載された「License」 ページが表示されます。



ライセンスの更新

-  「Field Xpert SMT71」メンテナンス契約の有効期限が切れた場合は、メンテナンス契約の延長を注文しなければなりません。
-  ライセンスを更新するには、タブレット PC をインターネットに接続する必要があります。

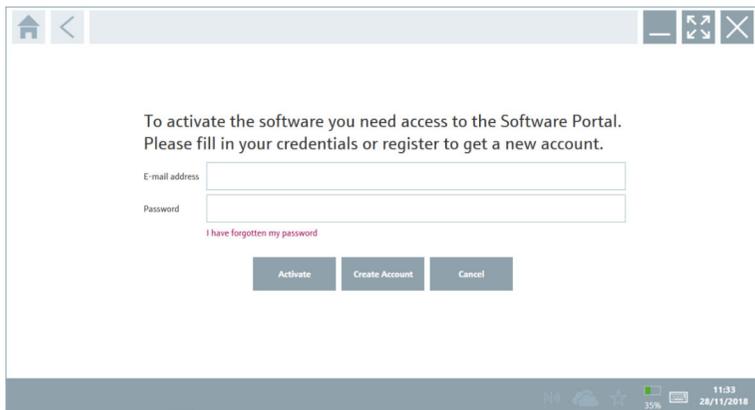
ソフトウェアバージョン 1.05 以降のライセンス更新

Field Xpert ソフトウェアを起動すると、ライセンスのステータスがオンラインで確認されます。ライセンスの更新を利用できるユーザーの場合は、ライセンスが自動更新されます。その後、ユーザーに通知が届きます。

ソフトウェアバージョン 1.04 までのライセンス更新

「Field Xpert SMT71」メンテナンス契約の延長注文が完了した後：

1. **License** タブをタップします。
2. **Activate License** をタップします。
 - ↳ 次のページが表示されます。



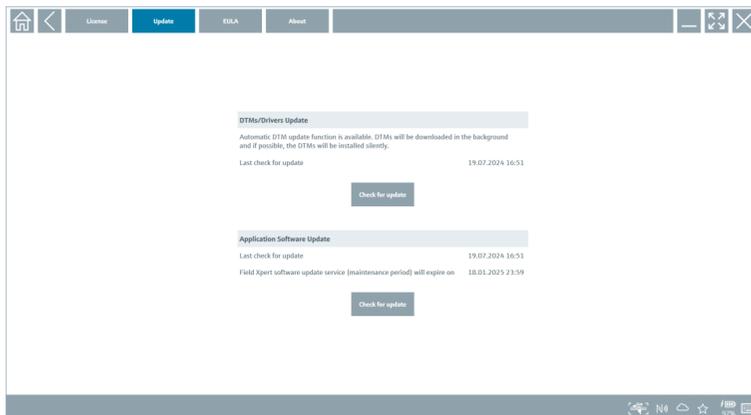
3. **E-mail address** と **Password** を入力し、**Activate** をタップします。
4. **Activate License** をタップします。
 - ↳ ライセンスが更新されます。

10.9.2 Update

1. スタート画面のヘッダーにある  アイコンをタップします。
 - ↳ 「License」ページが表示されます。

2. Update タブをタップします。

- ↳ 最新のアップデートに関する情報が表示されます。新しいアップデートを検索することも可能です。



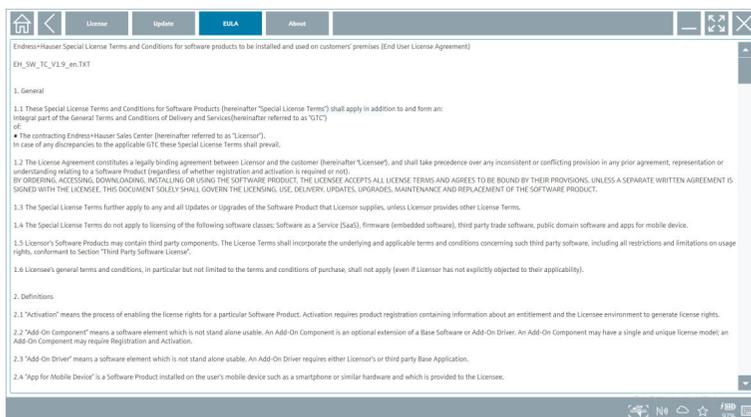
10.9.3 EULA

1. スタート画面のヘッダーにある ⓘ アイコンをタップします。

- ↳ 「License」ページが表示されます。

2. EULA タブをタップします。

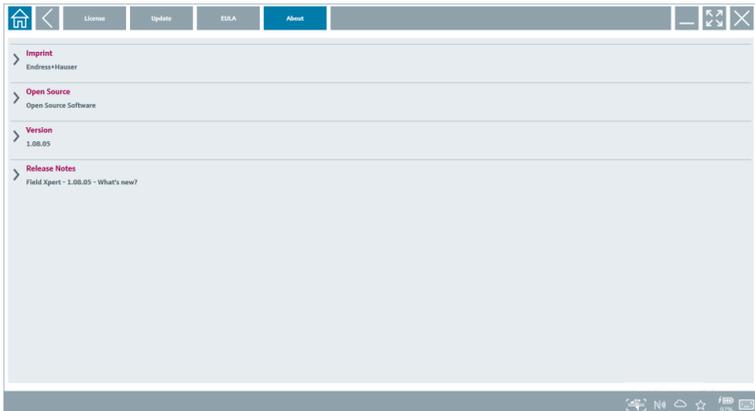
- ↳ Endress+Hauser の取引条件およびライセンス条件が記載されたページが表示されます。



10.9.4 情報

このページには、奥付、ソーステキスト、バージョン、現在のリリースノートなど、最新の Field Xpert ソフトウェアに関する情報が表示されます。

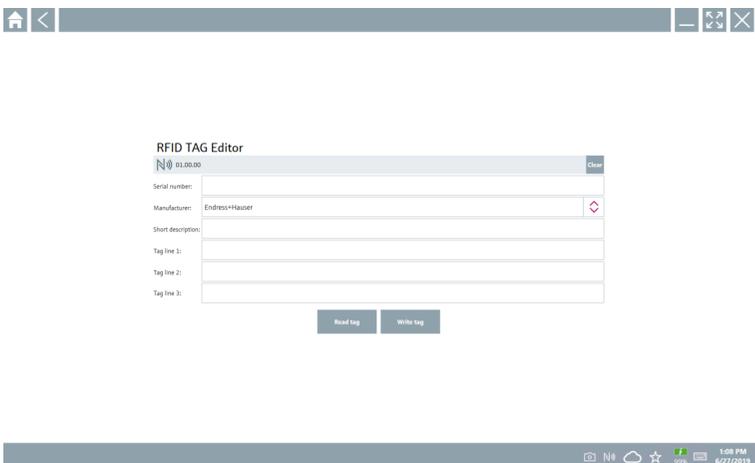
1. スタート画面のヘッダーにある ⓘ アイコンをタップします。
↳ 「License」 ページが表示されます。
2. **About** タブをタップします。
↳ 情報の概要が表示されます。



3. 各項目の詳細については、> アイコンをタップします。

10.10 RFID

1. RFID リーダーをタブレット PC に接続します。
2. Field Xpert ソフトウェアのフッターにある ⓘ アイコンをタップします。
↳ 「RFID TAG Editor」 ページが表示されます。



3. RFID タグを RFID リーダーに置きます。

4. **Read tag** をタップします。
 - ↳ 「Device Viewer」 ボタンが表示されます。
5. シリアル番号固有の機器情報と関連資料については、**Device Viewer** をタップします。
 - ↳ Device Viewer が Internet Explorer で開きます。
6. データを変更したら、**Write tag** をタップします。
 - ↳ 変更内容が RFID タグに書き込まれます。

11 メンテナンス

11.1 バッテリ

バッテリーを使用する場合は、以下の点に注意してください。

- バッテリーは室温で充電または放電してください。
- バッテリーの寿命は、複数の要因に左右されます。
 - 充電および放電サイクルの回数
 - 周囲条件
 - 保管中の充電状態
 - バッテリーに課された要件
- バッテリーの超過使用は、機器性能に悪影響を及ぼします。
- バッテリーは機器外部に放電される可能性があります。

 毎日の充電と放電に起因するストレスにより、バッテリーの寿命とともに性能の低下が進む可能性があります。

通常、リチウムイオンバッテリーは 300~500 回の充電サイクル（完全な充電/放電サイクル）の後、またはバッテリー容量 70~80 % に達した場合に交換されます。

実際のサイクル数は、使用パターン、温度、使用期間、その他の要因によって異なります。

 自己放電によるバッテリー容量の永続的な低下を回避するため、バッテリーを 5 % 未満まで放電しないでください。

警告

バッテリーの落下、破砕、またはその他の不適切な取扱い

火災や化学火傷を引き起こす可能性があります。

- ▶ 必ずバッテリーを適切に使用してください。

注記

温度が低すぎる、または高すぎる場合は、バッテリーを充電できません。

これにより、バッテリーの潜在的な損傷を防止します。

- ▶ バッテリーは、必ず約 20 °C (68 °F) の温度で充電してください。

⚠ 注意**バッテリーの損傷または漏れ**

負傷する可能性があります。

- ▶ バッテリーの取扱いには細心の注意を払ってください。

⚠ 注意**充電中にバッテリーが過熱したり、焦げ臭い匂いがした場合は、**

すぐにその場所を離れてください。

- ▶ 直ちに安全担当者に連絡してください。

バッテリーを使用する場合は、以下の点に注意してください。

- 稼働時間が短くなった場合は、バッテリーを交換してください。
- バッテリーの上に物を置かないでください。
- バッテリーを導電性または可燃性の物質に近づけないでください。
- バッテリーは、子供の手の届かないところに保管してください。
- 純正バッテリーのみを使用してください。
- 純正機器や純正の充電ステーションでのみ、バッテリーを充電してください。
- バッテリーを濡らさないでください。
- バッテリーを燃やさないでください。
- バッテリーを 0°C (32 °F) 未満、または 46 °C (115 °F) 以上の温度にさらさないでください。

i バッテリーを極端な温度にさらすと、バッテリー容量が 100 % に達しなくなります。バッテリーを約 20 °C (68 °F) の温度範囲に戻すと、容量が回復する場合があります。

- 換気を確保してください。
- 温度が約 20 °C (68 °F) の場所でバッテリーを充電してください。
- バッテリーを電子レンジに入れしないでください。
- バッテリーを分解したり、先の尖ったものと接触させたりしないでください。
- 先の尖ったものでバッテリーを機器から取り出さないでください。

i バッテリーは機器との組み合わせで防爆認定を取得しています。証明書に記載されていないバッテリーを使用すると、防爆認定が無効になります。

i バッテリーのエネルギー節減

- Windows 10 Creators Update
 - バッテリー寿命の向上
 - バッテリー消耗の確認
- 使用していないワイヤレスモジュールをオフにする
- ワイヤレス機器の設定を確認して最適化する
- ディスプレイの明るさを下げる
- サービスプログラムで使用されていないすべてのモジュールをオフにする（例：GPS、スキャナ、カメラ）
- スクリーンセーバーをオンにする
- Microsoft のガイドラインに従って電源プランを作成する
- Microsoft のガイドラインに従って電源オプションを設定する
- Microsoft のガイドラインに従ってスリープ設定を行う

11.1.1 バッテリーの交換

**危険**

不正なバッテリーの交換

爆発の危険性があります。

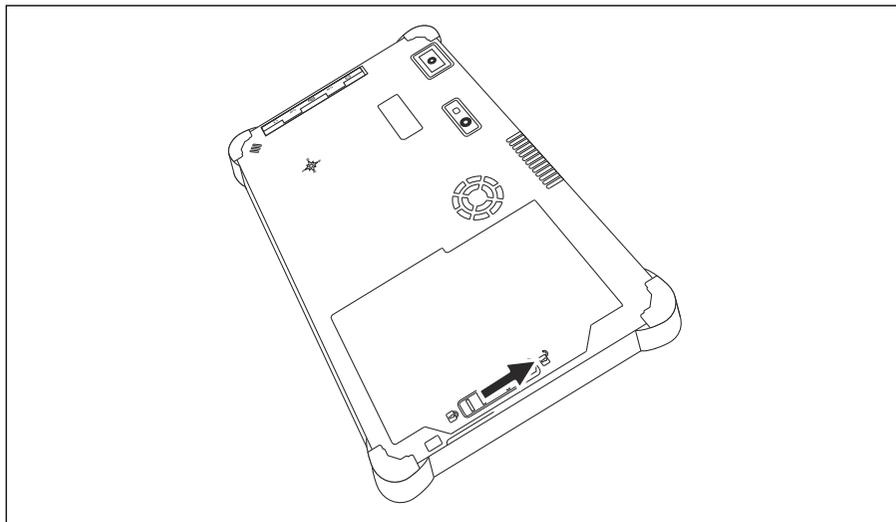
▶ 製造者の推奨バッテリーまたはそれと同等のバッテリーと交換してください。



バッテリーの使用状況に応じて、バッテリー容量は徐々に減少します。18～24 か月間使用したバッテリーは、新しいバッテリーに交換してください。

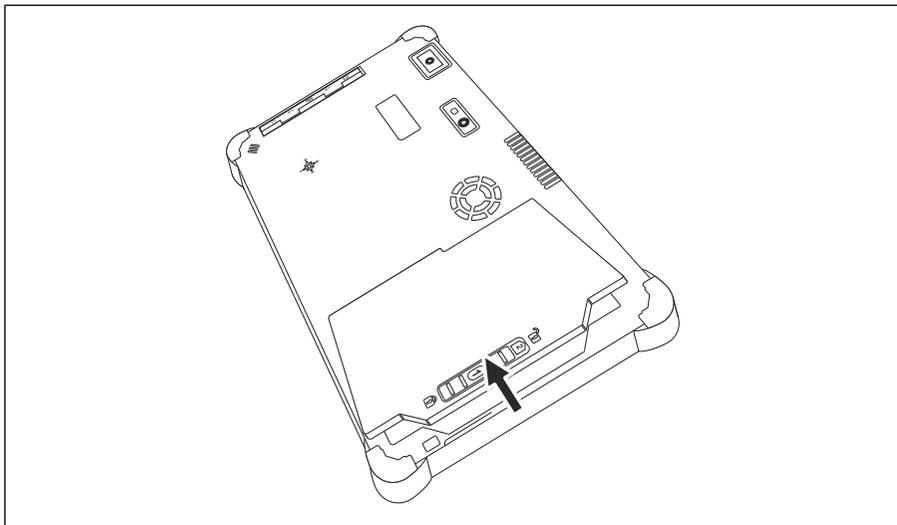
使用済みのバッテリーを廃棄する場合は、製造者の指示に従ってください。

バッテリーの取外し

1.

バッテリーロックを「ロック解除」位置までスライドさせます。

2.



バッテリー収納部を開き、バッテリーを取り外します。

i バッテリーの装着方法については、→ 図 22 を参照してください

11.2 清掃

i 機器の清掃

正しく機器の電源をオフにして、AC アダプタを取り外します。

乾燥した清潔な布で機器を拭きます。

研磨洗浄剤は使用しないでください。

12 修理

12.1 一般情報

注記

無許可での機器の修理

機器の損傷および/または保証の無効化が生じます。

- ▶ 修理作業は、Endress+Hauser でのみ実施することができます。修理については、当社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。 www.addresses.endress.com

12.2 スペアパーツ



現在用意されている機器のスペアパーツをオンラインでご確認いただけます：<https://www.endress.com/deviceviewer> (→ シリアル番号を入力)。

12.3 返却

機器の安全な返却要件は、機器の種類と各国の法によって異なります。

1. ウェブページの情報を参照してください。
<https://www.endress.com/support/return-material>
↳ 地域を選択します。
2. 機器を返却する場合、機器が衝撃や外部の影響から確実に保護されるように梱包してください。納入時の梱包材を使用すると、最適な保護効果が得られます。

12.4 廃棄

 電子・電気機器廃棄物 (WEEE) に関する指令 2012/19/EU により必要とされる場合、分別されていない一般廃棄物として処理する WEEE を最小限に抑えるため、製品には絵文字シンボルが付いています。このマークが付いている製品は、分別しない一般ゴミとしては廃棄しないでください。代わりに、適切な条件下で廃棄するために製造者へご返送ください。

12.4.1 バッテリーの廃棄

この製品には、リチウムイオン電池またはニッケル水素電池が含まれています。これらのバッテリーは適切な方法で廃棄する必要があります。該当する国の再利用/廃棄方法については、地域の環境保護機関にお問い合わせください。

13 アクセサリ

本製品向けの現行アクセサリは、www.endress.com で選択できます。

1. フィルタおよび検索フィールドを使用して製品を選択します。
2. 製品ページを開きます。
3. **Spare parts & Accessories** を選択します。

14 技術データ

 「技術データ」の詳細については、技術仕様書を参照してください。→  9

15 付録

15.1 モバイル機器の保護

最近では、モバイル機器に保存されるデータが増えているため、モバイルテクノロジーは現代の企業において重要な一要素となっています。また、これらの機器は今や、従来のコンピュータと同様に高性能です。モバイル機器は、頻繁に事業所から持ち出されるため、デスクトップ機器よりもさらに強い保護が必要です。モバイル機器とそれに含まれる情報を保護するための4つの簡単なヒントが、以下に示されています。

パスワード保護をオンにする

十分に複雑なパスワードまたはPINを使用してください。

セキュリティ更新を実行する

すべての製造者は、機器を保護するために定期的なセキュリティアップデートをリリースしています。このプロセスは迅速、容易、そして無料です。更新が自動的にインストールされるか、設定を確認してください。製造者が機器のアップデートをこれ以上リリースする予定がない場合は、機器を最新バージョンに交換する必要があります。

アプリおよびオペレーティングシステムの更新を実行する

インストールされているすべてのアプリケーションおよびオペレーティングシステムを、ソフトウェア開発者によってリリースされたバッチで定期的に更新します。これらのアップデートにより、新機能が追加されるだけでなく、セキュリティの脆弱性が検出された場合はすべて修正されます。Endress+Hauser ソフトウェアアップデート機能では、新しいアップデートの自動通知が可能です。これにはインターネットアクセスが必要です。担当者にとって、アップデートがいつ利用可能で、どのようにインストールできるかという情報は重要であり、これを可能な限り迅速に実施する必要があります。

不明な WLAN ホットスポットに接続しないこと

最も容易な予防策は、不明なホットスポットを介してインターネットに接続せず、代わりに3Gまたは4G 携帯電話ネットワークを使用することです。仮想プライベートネットワーク (VPN) を介して、データはインターネット経由で送信される前に暗号化されます。

15.2 連邦通信委員会 (FCC)

本機器は、FCC 規則のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器のリミット値に準拠することが試験で証明されています。これらのリミット値は、住宅地域での使用において、有害な干渉が生じないように適切に保護する目的で規定されています。本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用し、また放出する可能性があります。このため、取扱説明書の

指示に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉が生じる可能性があります。ただし、特定の設置状況において、干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信障害を引き起こしている場合（本機器の電源をオン/オフすることで、本機器が原因であるかどうかを特定可能）、その問題への対処はユーザーの責任となります。

15.3 Canada, Industry Canada (IC) Notices / Canada, avis d'Industry Canada (IC)

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003 and RSS-210. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes ICES- 003 et RSS-210. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, notamment les interférences qui peuvent affecter son fonctionnement.

15.3.1 無線周波数 (RF) の被曝に関する情報

The radiated output power of the Wireless Device is below the Industry Canada (IC) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized. This device has been evaluated for and shown compliant with the IC Specific Absorption Rate ("SAR") limits when installed in specific host products operated in portable exposure conditions.

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF) La puissance de sortie émise par l'appareil de sans fil est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industry Canada (IC). Utilisez l'appareil de sans fil de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal. Ce périphérique a été évalué et démontré conforme aux limites SAR (Specific Absorption Rate – Taux d'absorption spécifique) d'IC lorsqu'il est installé dans des produits hôtes particuliers qui fonctionnent dans des conditions d'exposition à des appareils portables.

15.4 Warning Explosion Hazard

Class I, Division 2, Group A, B, C, D, T Code T5

Model R11XXXXXX, Rugged Tablet PC, Battery Powered (Battery P/N R11AH or R11AH2XXXXXX rechargeable lithium-ion battery pack), Ambient Temperature Range: 0°C to +40°C. Note: The "X" in the model designations may be any alphanumeric character or blank denoting minor mechanical options, system configuration options and/or safety extra low voltage secondary circuit options.

安全に使用するための条件：

Connection to or from this device, which enters or leaves the system enclosure, must be completely restricted in Class I, Division 2 Hazardous Locations.

Rugged Tablet PC is to be charged by the supplied charging adaptor, type FSP065-RAB, manufactured by FSP Group, in Non-Hazardous Location only.

Suitable for use in Class I, Division 2 Groups A, B, C and D hazardous locations or non-hazardous locations only;

“WARNING - EXPLOSION HAZARD - SUBSTITUTION OF COMPONENTS MAY IMPAIR SUITABILITY FOR CLASS I, DIVISION 2.”

AVERTISSEMENT - RISQUE D'EXPLOSION - LA SUBSTITUTION D'E COMPOSANTSP EUTR ENDRE CE MATERIEL INACCEPTABLE POUR LES EMBLEMENTS DE CLASSE I, DIVISION 2.

“WARNING: TO PREVENT IGNITION OF A HAZARDOUS ATMOSPHERE, BATTERIES MUST ONLY BE CHARGED IN AN AREA KNOWN TO BE NON- HAZARDOUS.”

“AVERTISSEMENT- RISQUED 'EXPLOSION- AFIN D'EVITER TOUT RISQUE D'EXPLOSION, S'ASSURER QUE L'EMPLACEMENT EST DESIGNE NON DANGEREUX AVANT DE CHANGER LA BATTERIE.”

“WARNING - EXPLOSION HAZARD - DO NOT CONNECT OR DISCONNECT WHILE CIRCUIT IS LIVE UNLESS AREA IS KNOWN TO BE NON- HAZARDOUS.”

“AVERTISSEMENT - RISQUE D'EXPLOSION. NE PAS BRANCHER OU DÉBRANCHER TANT QUE LE CIRCUIT EST SOUS TENSION, À MOINS QU'IL NE S'AGISSE D'UN EMBLEMENT NON DANGEREUX.”

15.5 クラス 1 レーザー製品

EN 60825 に準拠したクラス 1 レーザー製品

本機器はレーザーシステムを搭載し、「クラス 1 レーザー製品」に分類されます。本機器を正しく使用するために、本マニュアルをよくお読みください。本マニュアルは今後いつでも参照できるように安全に保管しておいてください。本モデルに問題が発生した場合は、お近くの「正規サービスセンター」にお問い合わせください。直接的なレーザー照射を防止するため、本機器のハウジングを開けないでください。



71688183

www.addresses.endress.com
